

平成14年度

湘南市の将来都市像研究報告

平成15年(2003年)3月

湘南市研究会

目次

はじめに

1. 「湘南市」研究の背景.....	1
(1) 湘南地域のポテンシャル.....	1
ゆるやかに弧を描く湘南海岸と母なる相模川.....	1
首都圏南西部、東海道沿いに立地.....	2
歴史と文化の薫り高く、多様な人的資源を誇るまち.....	6
湘南地域全体でバランスよく整備された都市基盤.....	8
(2) 湘南地域を取りまく社会経済条件.....	10
少子高齢化・人口減少.....	10
生活圏・経済圏の広域化.....	11
産業構造の変化.....	13
情報化・ネットワーク化.....	16
地方分権と厳しい財政状況.....	18
公共サービスの担い手の多様化.....	20
(3) 湘南地域の方向性.....	21
新しい生活文化／ライフスタイルの創造.....	21
新たな産業基盤の創出.....	21
コミュニティ活動の活性化とネットワーク化.....	21
地域経営能力向上と行財政の効率化.....	22
2. 「湘南市」の将来都市像.....	23
3. 「湘南市」のまちづくりの目標.....	24
水とみどりのルネッサンス 湘南海岸・相模川の自然と共生するまち.....	25
21世紀の東海道に連なるまち.....	26
芸術・文化を創造し発信するまち.....	27
湘南ブランドをいかした世界にはばたく産業を育てるまち.....	28
21世紀の湘南を支える人を育むまち.....	29
いきいきと安心して暮らせるまち.....	30
自立的な地域経営をめざすまち.....	31
4. 「湘南市」がめざすべき地方制度.....	32
5. 参考資料.....	37

はじめに

湘南地域は、湘南海岸や相模川など豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、多彩な産業や高度な研究・教育機関が集まっています。都市基盤もバランスよく整備され、文化の薫り高く、職、住、学、遊など多様な生活空間が確保された豊かで活力ある地域として、それぞれの市町が個性と特色をもって発展しています。

その一方、少子高齢社会、地方分権の時代、厳しい財政状況など様々な社会経済の潮流が湘南地域を取り巻いています。

このような状況に対応するまちづくりとして、湘南地域は、これまで集積された産業、交通、教育、文化、医療など多様な都市機能の集約・連携と効率的な行財政運営が求められています。また、様々な住民ニーズに適う施策の充実や地域に根付いた伝統・文化を踏まえ、21世紀にふさわしい創造力あふれる文化を生み出すことが重要です。

湘南市研究会は、湘南地域のもつ歴史、文化、伝統、自然を踏まえ、これまでの広域的な連携をさらに発展させ、長期的な視野に立ち、将来のまちづくりの研究を進め、その成果を住民の皆さんに提供していこうと設置したものです。

平成14年度は、将来を展望した積極的なまちづくりとして、個性豊かで特色のある3市3町が一つにまとまる「湘南市」の将来都市像を研究しました。地域資源の一体的・広域的活用を図り、歴史・文化により確立された湘南のイメージを発展させ、世界に対して発信できる魅力あふれる都市をめざしています。また、100万人に迫る人口を有する湘南市にとってふさわしい地方制度として政令指定都市と導入すべき自治の仕組みを研究しました。

この一年間は、都市計画、地方自治やコミュニケーションなど各分野の専門家との意見交換も交えて研究を行ってきましたが、湘南市の将来都市像を実現するために取り組むべきまちづくりの目標や湘南市で展開される地方制度などの課題があります。ここに1年間の研究の成果を報告としてまとめ、湘南地域の将来を考え、検討していく資料とさせていただきます。

1. 「湘南市」研究の背景

本章では、湘南市の将来都市像を検討するにあたって、その背景となる湘南地域の特徴と、湘南地域を取りまく社会経済条件について考察し、湘南市の将来都市像の方向性について検討します。

(1) 湘南地域のポテンシャル

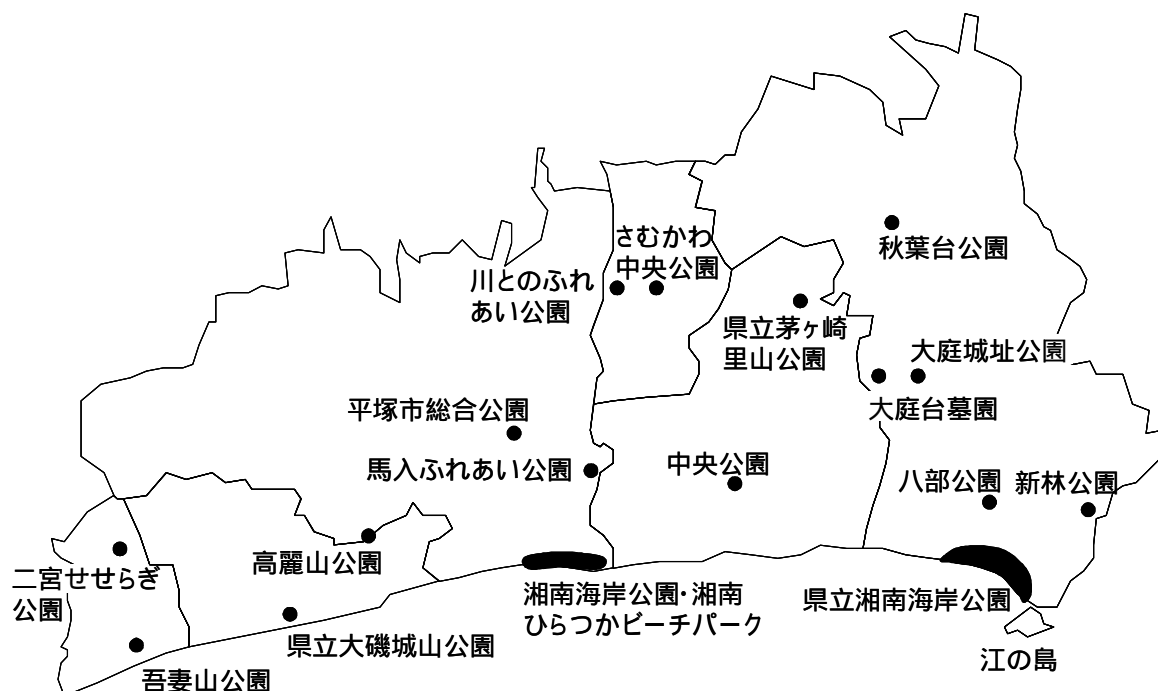
湘南地域を構成する平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、大磯町、二宮町の3市3町は、ゆるやかに弧を描く湘南海岸と母なる相模川、首都圏南西部、東海道沿いに立地、歴史と文化の薫り高く、多様な人的資源を誇るまち、湘南地域全体でバランスよく整備された都市基盤、という高いポテンシャルを有しています。

ゆるやかに弧を描く湘南海岸と母なる相模川

首都圏に位置する湘南地域は、20kmにわたる砂浜が続き、ゆるやかに弧を描く湘南海岸や母なる相模川などのウォーターフロントを有し、周囲の丘陵や住宅地内の美しい緑に恵まれています。さらに、富士山や箱根連山を遠望できる地で、気候も温暖であり、「湘南清絶地」とも賞される風光明媚な土地柄です。

また、日常的に水や緑に親しみ快適な生活を送ることができる湘南地域の環境は、幾多の文化人を魅了するとともに、スポーツやレジャーを楽しむ多くの人々を集める大きな要素となっています。

図表 1 湘南地域の代表的な緑地・公園等 【 参考図表 5】



	名称	面積
平塚市	平塚市総合公園	30.3ha
	馬入ふれあい公園	6.3ha
	高麗山公園	23.8ha
	湘南海岸公園・湘南ひらつかビーチパーク	9.9ha
藤沢市	県立湘南海岸公園	17.3ha
	大庭城址公園	12.6ha
	新林公園	16.2ha
	八部公園	5.7ha
	秋葉台公園	7.7ha
	大庭台墓園	36.9ha
茅ヶ崎市	中央公園	4.0ha
	県立茅ヶ崎里山公園	12.4ha (平成20年度全面開園時は36.8ha)
寒川町	さむかわ中央公園	4.8ha
	川とのふれあい公園	7.2ha
大磯町	高麗山公園	94.8ha
	県立大磯城山公園	7.0ha
二宮町	吾妻山公園	11.4ha
	二宮せせらぎ公園	0.9ha

首都圏南西部、東海道沿いに立地

大都市・東京を中心として川崎・横浜など多くの都市が連たんする首都圏は、世界

にも類をみない人口と産業が集積している地域です。この首都圏の南西部に位置する湘南地域は、東京と京阪神地区を結ぶ日本の大動脈である東海道沿いに立地し、東京のベッドタウンとして、製造業など多様な産業の集積地として、また日帰り型のリゾート地として発展しています。

産業面の集積は、輸送機械や電機などを中心とする製造業、駅周辺等に集積が進む商業、湘南海岸や江ノ島、寒川神社などに集まる人々を対象とした観光産業、花卉・果樹・野菜などの都市型農業、定置網や地引網などの沿岸漁業など、多岐にわたっています。

図表 2 湘南地域の主要駅の鉄道乗車人員（平成 12 年度）

路線名	駅名	乗車人員（人）	路線名	駅名	乗車人員（人）
JR 東海道線	藤沢	33,813,596	小田急電鉄	湘南台	11,147,689
	辻堂	16,409,427		藤沢	25,618,394
	茅ヶ崎	19,729,023		片瀬江ノ島	2,764,048
	平塚	21,222,010	相模鉄道	湘南台	3,473,575
	大磯	2,631,979	江ノ島電鉄	藤沢	4,419,185
	二宮	5,621,185		江ノ島	862,934
JR 相模線	香川	1,472,802	湘南モノレール	湘南江の島	595,401
	寒川	2,346,313	横浜市営地下鉄	湘南台	5,451,511

資料：神奈川県「県勢要覧」（平成 13 年度版）

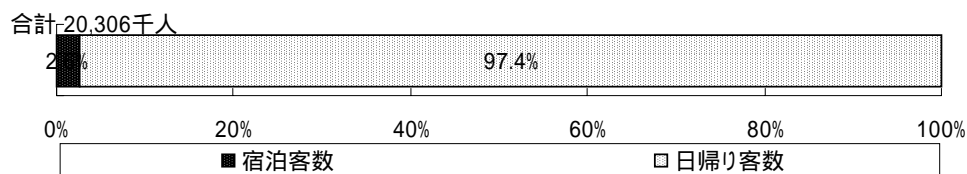
図表 3 湘南地域の自動車・歩行者交通量（平成 11 年 10 月）

路線名	観測地点名		自動車（台）			歩行者 （人）		
			合計	乗用 自動車	貨物 自動車			
国道 1号	藤沢市	城南二丁目	44,861	-	-	-		
		茅ヶ崎市	代官町14	30,166	-	-	-	
	十間坂一丁目		28,724	-	-	-		
	中島121		37,265	-	-	-		
	平塚市	平塚1981	32,210	-	-	-		
	中郡	大磯町東小磯286	21,999	-	-	-		
国道 129号 134号 271号 467号	平塚市	四之宮	25,837	17,079	8,758	535		
		田村	29,046	16,595	12,451	120		
	藤沢市	鵜沼海岸一丁目	24,320	16,506	7,814	306		
		茅ヶ崎市	中海岸四丁目	22,406	15,193	7,213	128	
	平塚市	籠城ヶ丘	17,901	11,443	6,458	59		
	平塚市	岡崎	8,687	4,933	3,754	3		
	藤沢市	鵜沼石上二丁目	12,538	9,370	3,168	2,747		
		湘南台一丁目	16,801	10,974	5,827	561		
	主要 地方 道	戸塚・茅ヶ崎	藤沢市	大鋸二丁目	16,452	9,885	6,567	1,450
				辻堂大平台一丁目	14,767	9,958	4,809	459
藤沢・厚木		藤沢市	用田	16,804	8,776	8,028	956	
			羽鳥四丁目	15,895	10,135	5,760	493	
平塚・秦野		平塚市	上平塚	13,791	10,473	3,318	1,158	
			南金目	14,567	9,506	5,061	170	
丸子・中山・茅ヶ崎		茅ヶ崎市	円蔵	11,788	8,454	3,334	285	
平塚・伊勢原		平塚市	桃浜町	8,905	6,665	2,240	962	
			豊原町	13,269	9,475	3,794	473	
秦野・二宮		中郡	二宮町	14,892	10,865	4,027	707	

注：平成 11 年 10 月の平日 7 時から 19 時までの調査値。資料：神奈川県「県勢要覧」（平成 13 年度版）

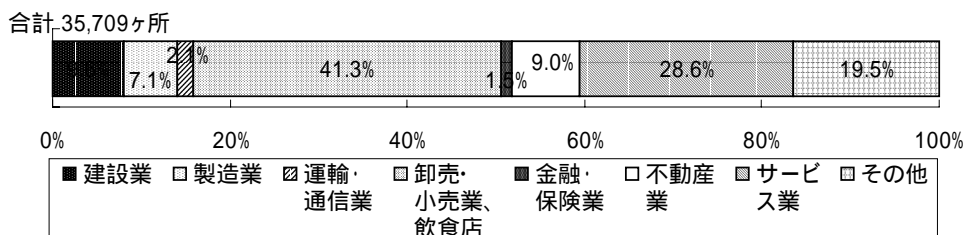
（国道 1 号）は、平成 11 年度の平日（24 時間）。資料：国土交通省関東地方整備局ウェブサイト（http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/2_now/4_kaido/2_ryo/ryo_kana.htm）

図表 4 湘南地域の観光客数の比率（平成 12 年） 【 参考図表 6 】



資料：(社)日本観光協会「全国観光動向」（平成 12 年）

図表 5 湘南地域の産業分類別事業所数比率（平成 13 年） 【 参考図表 7】

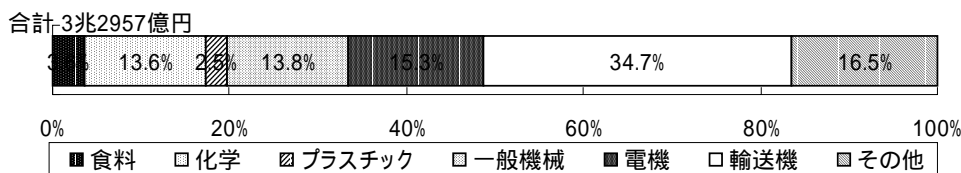


(箇所)

農林水産業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業、飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	公務	計
99	1	3,441	2,530	23	747	14,747	531	3,206	10,218	166	35,709

資料：総務省「事業所・企業統計調査」(平成 13 年)

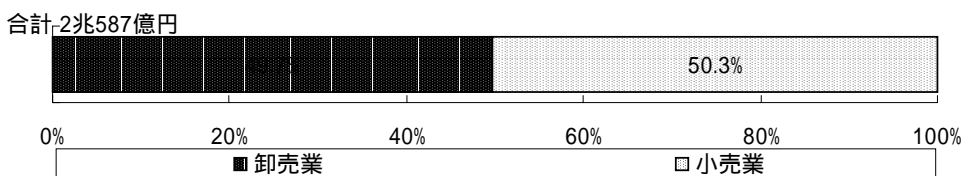
図表 6 湘南地域の産業別製造品出荷額等比率（平成 13 年、従業者 4 人以上の事業所）【 参考図表 8】



注：大磯町の化学及び輸送機、二宮町のプラスチック、一般機械及び輸送機はその他に含まれる。

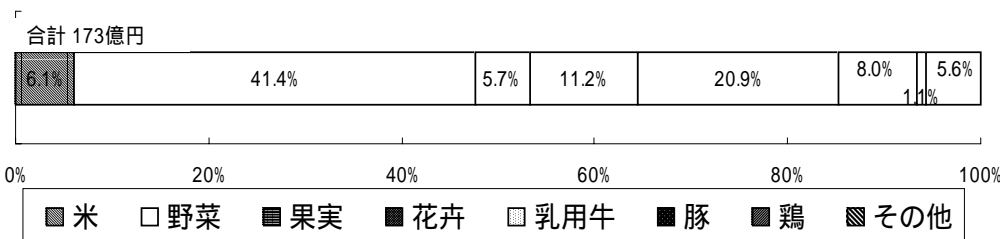
資料：神奈川県「工業統計調査」(平成 13 年)

図表 7 湘南地域の商業・年間販売額の比率（平成 11 年） 【 参考図表 9】



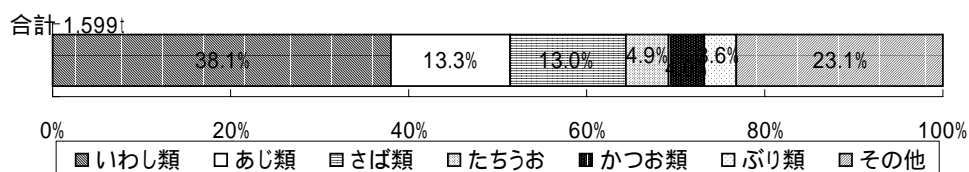
資料：通商産業省「商業統計調査」(平成 11 年)

図表 8 湘南地域の農業粗生産額の比率（平成 12 年） 【 参考図表 10】



資料：農林水産省『生産農業所得統計』

図表 9 湘南地域の海面漁業の魚種別漁獲量の比率（平成 12 年） 【 参考図表 11】



資料：農林水産省『市町村の姿 グラフと統計でみる農林水産業』

歴史と文化の薫り高く、多様な人的資源を誇るまち

湘南地域は、鎌倉時代から関東の武士達が活躍した地として、江戸時代には東海道や大山道・江ノ島道が通る地域として、明治以降には伊藤博文、吉田茂らが居を構え、岸田劉生や芥川龍之介らが滞在した保養地・別荘地として知られてきました。戦後も小津安二郎や加山又造、サザンオールスターズなど多くの芸術家やクリエイターを輩出し、またその活動の舞台となっています。

このように湘南地域は多くの文化人が集まる土壌を持った地であり、湘南地域のそれぞれの市町が個性豊かな歴史、文化、伝統を蓄積してきました。現在でも住民の文化活動に関する関心は高く、歴史と文化の薫りが高い地域です。

多くの文化人が集い暮らしている湘南地域は、先人達が社会を先取りして新しい物事に取り組んできた土地柄です。現在でも文化・スポーツ活動や、社会や地域の課題に取り組む住民団体やコミュニティ団体の活動が盛んに行われています。

湘南地域は、知識や経験が豊かで、進取の精神に富み、新しい物事に挑戦していく人々が集まり、互いに刺激しあいながら活動している地域です。

図表 10 湘南地域ゆかりの著名人

- ・ 梶原景時【武士、鎌倉時代】(寒川町)
- ・ 大岡忠相【旗本・大名、江戸時代】(茅ヶ崎市・寒川町)
- ・ 田沼意次【大名、老中、江戸時代】(寒川町)
- ・ 後藤象二郎【逓信・農商務大臣、明治時代】(平塚市)
- ・ 伊藤博文【内閣総理大臣、明治時代】(大磯町)
- ・ 新島襄【同志社大学、明治時代】(大磯町)
- ・ エドワード・モース【考古学、動物学、明治時代】(藤沢市)
- ・ 村井弦斎【作家「食道楽」、明治～昭和時代】(平塚市)
- ・ 島崎藤村【作家「夜明け前」、明治～昭和時代】(大磯町)
- ・ 徳富蘇峰【ジャーナリスト、評論家、明治～昭和時代】(二宮町)
- ・ 岸田劉生【洋画、大正時代】(藤沢市)
- ・ 萬籟五郎【洋画、大正時代】(茅ヶ崎市)
- ・ 芥川龍之介【作家「羅生門」、大正時代】(藤沢市)
- ・ 中勘助【作家「銀の匙」、大正・昭和時代】(平塚市)
- ・ 和辻哲郎【哲学、大正・昭和時代】(藤沢市)
- ・ 吉田茂【内閣総理大臣、昭和時代】(大磯町)
- ・ 片山哲【内閣総理大臣、昭和時代】(藤沢市)
- ・ 小平浪平【日立製作所、昭和時代】(平塚市)
- ・ 木谷實【囲碁、昭和時代】(平塚市)
- ・ 吉田五十八【建築、昭和時代】(二宮町)
- ・ 西山弥太郎【川崎製鉄、昭和時代】(二宮町)
- ・ 小山敬三【洋画、昭和時代】(茅ヶ崎市)
- ・ 小津安二郎【映画監督、昭和時代】(茅ヶ崎市)
- ・ 井上有一【書家、教員、昭和時代】(寒川町)
- ・ 開高健【作家「裸の王様」、昭和・平成時代】(茅ヶ崎市)
- ・ 高木敏子【作家「ガラスのうさぎ」、現代】(二宮町)
- ・ 片岡球子【日本画、現代】(藤沢市)
- ・ 加山又造【日本画、現代】(大磯町)
- ・ 城山三郎【作家「落日燃ゆ」、現代】(茅ヶ崎市)
- ・ 加山雄三【俳優、現代】(茅ヶ崎市)
- ・ 山下泰裕【柔道、現代】(平塚市)
- ・ 桑田佳祐【歌手、現代】(茅ヶ崎市)

図表 11 湘南地域の主な行事

伝統行事	その他イベント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 江の島天王祭（藤沢市） ・ 皇大神宮例祭（藤沢市） ・ 田村雛子（平塚市） ・ 相模人形芝居前鳥座（平塚市） ・ 川勾神社例大祭（二宮町） ・ 遊行寺開山忌（藤沢市） ・ 中里はやし（二宮町） ・ 浜降祭（茅ヶ崎市・寒川町） ・ 大岡越前祭（茅ヶ崎市） ・ 乙女文楽（茅ヶ崎市） ・ 薪能（寒川町） ・ 獅子舞（寒川町） ・ 流鏝馬（寒川町） ・ だるま市（寒川町） ・ 国府祭（大磯町） ・ 左義長（大磯町） ・ 高麗の山神輿（大磯町） ・ 御船祭（大磯町） ・ 西小磯の七夕（大磯町） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湘南ひらつか七夕まつり（平塚市） ・ 湘南ひらつか囲碁まつり（平塚市） ・ 湘南ひらつか第九のつどい（平塚市） ・ 郷土かるた（平塚市） ・ 江の島花火大会（藤沢市） ・ ビーチバレー（藤沢市） ・ 市民まつり（藤沢市） ・ 市民オペラ（藤沢市） ・ 湘南祭（茅ヶ崎市） ・ 市民ふれあいまつり（茅ヶ崎市） ・ サザンビーチちがさき花火大会（茅ヶ崎市） ・ 花火大会（寒川町） ・ 産業まつり（寒川町） ・ 観桜駅伝（寒川町） ・ 緑のフェスティバル（寒川町） ・ ふれあいまつり（大磯町） ・ なぎさの祭典（大磯町） ・ 西行祭（大磯町） ・ 湘南ビーチマラソン大会（二宮町） ・ 湘南にのみやふるさとまつり（二宮町） ・ 吾妻さんよさこいパレード（二宮町） ・ 白ギス投釣大会（二宮町）

湘南地域全体でバランスよく整備された都市基盤

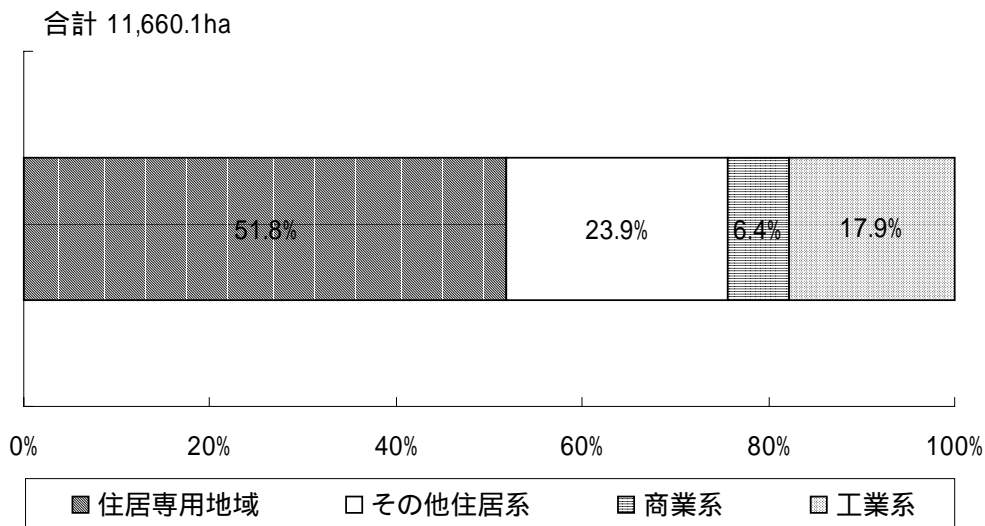
湘南地域は、日本の大動脈である東海道沿いに位置することから、鉄道・道路等の交通基盤がよく整備され、首都圏のベッドタウンとして良好な住宅地を有しています。

産業面では、前述のように多様な業種が集積しています。一方で、大学などの高度な研究・教育機関が多数立地しており、産学連携による新たな可能性を秘めています。また、各市町の各種の公共施設の整備が進んでいます。

このように、地域全体で多彩な生活空間・都市基盤がバランスよく確保された湘南地域は、100万に迫る人口を有する、豊かで活力ある地域に発展してきています。

図表 12 湘南地域の用途地域に占める住居専用地域の比率（平成 13 年 3 月 31 日現在）

【 参考図表 12】



(ha)

住居専用地域	その他住居系	商業系	工業系	用途地域計
6,038.0	2,787.6	749.0	2,085.5	11,660.1

凡例：住居専用地域：第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域

その他住居系：第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域

商業系：近隣商業地域、商業地域

工業系：準工業地域、工業地域、工業専用地域

資料：神奈川県「県勢要覧」(平成 13 年度版)

図表 13 湘南地域の大学・主な研究施設の設置状況

大学	主な研究施設
<ul style="list-style-type: none"> ● 東海大学・大学院 (平塚市) ● 神奈川大学・大学院 (平塚市) ● 慶應義塾大学・大学院 (藤沢市) ● 湘南工科大学・大学院 (藤沢市) ● 日本大学・短期大学・大学院 (藤沢市) ● 湘南国際女子短期大学 (藤沢市) ● 文教大学 (茅ヶ崎市) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県環境科学センター (平塚市) ● 県農業総合研究所 (平塚市) ● 三共(株) (平塚市) ● 日産車体(株)開発部門 (平塚市) ● コマツ中央研究所 (平塚市) ● 県立総合教育センター (藤沢市) ● (株)荏原総合研究所 (藤沢市) ● いすゞ自動車(株)藤沢工場 (藤沢市) ● 県衛生研究所 (建設中) (茅ヶ崎市) ● 東陶機器(株) (茅ヶ崎市) ● (株)アルバック (茅ヶ崎市) ● 電源開発(株)技術管理センター茅ヶ崎研究所 (茅ヶ崎市) ● 県企業庁水質センター (寒川町) ● ユシロ化学工業(株)技術研究所 (寒川町) ● 東京大学大学院農学生命科学研究科附属二宮果樹園 (二宮町) ● 東京農業大学二宮柑橘園 (二宮町)

(2) 湘南地域を取りまく社会経済条件

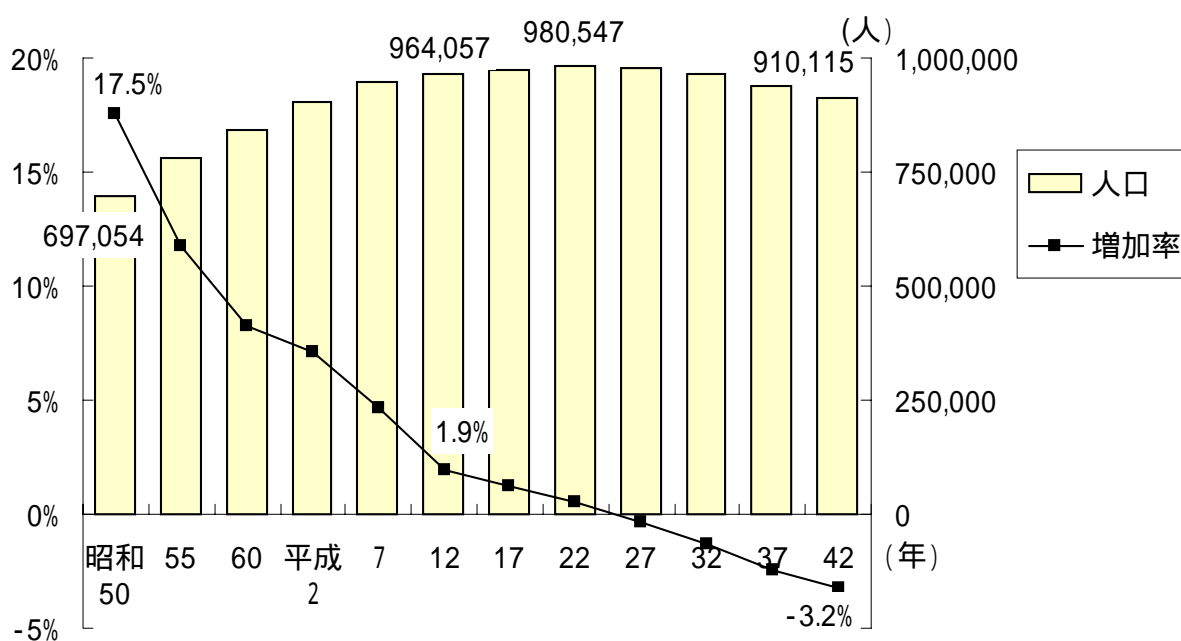
湘南地域は高いポテンシャルに恵まれた環境にありますが、その一方で 少子高齢化・人口減少、生活圏・経済圏の広域化、産業構造の変化、情報化・ネットワーク化、地方分権と厳しい財政状況、公共サービスの担い手の多様化という湘南地域を取りまく社会潮流に対応していくための課題を抱えています。

少子高齢化・人口減少

湘南地域はこれまで高い人口増を続けており、人口は 964,057 人（平成 12 年国勢調査）と、政令指定都市に匹敵する規模となっています。また、年少人口（15 歳未満人口）比率は 14.2% で全国平均（14.6%）並みですが、老年人口（65 歳以上人口）比率は 14.2% で全国平均（17.3%）より低く、少子高齢化の進展は緩やかであると言えます。

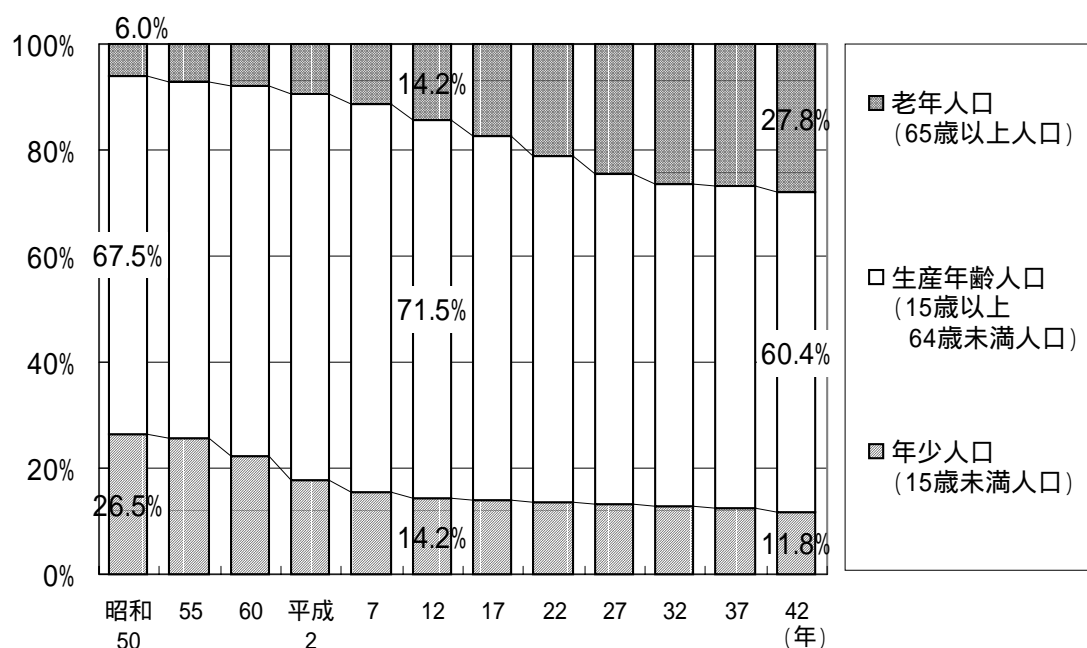
しかし、湘南地域の人口増加率は下がり続けており、平成 22 年（2010 年）をピークに減少傾向に転ずると予想されています。少子高齢化についても今後は急速に進み、平成 42 年（2030 年）には年少人口比率が 11.8%、老年人口比率が 27.8% に達すると予想されます。

図表 14 湘南地域の人口及び 5 年前と比較した人口増加率



資料：総務省「国勢調査」（平成 12 年まで）、(財)統計情報研究開発センター「市区町村別将来推計人口（2005～2030 年）」（平成 17 年以降）

図表 15 湘南地域の年少人口・老年人口比率の推移 【 参考図表 14】



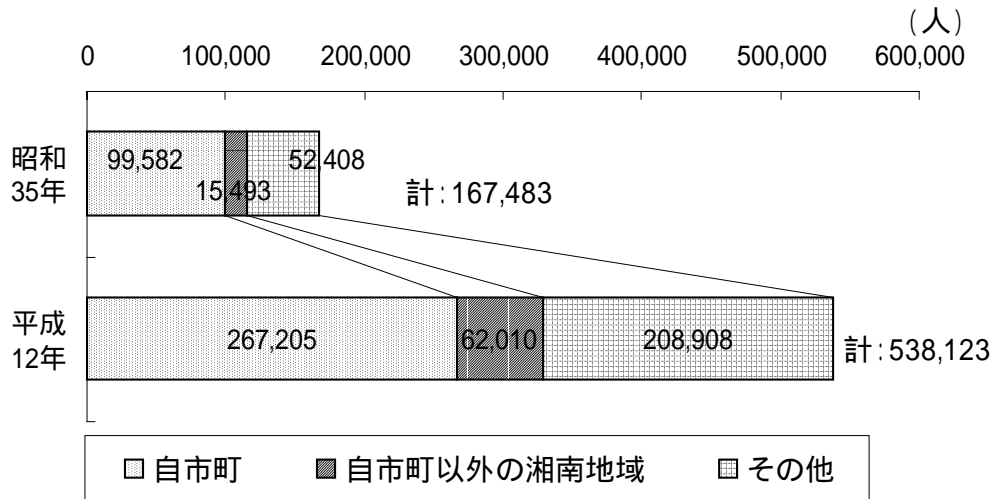
資料：総務省「国勢調査」(平成12年まで)、(財)統計情報研究開発センター「市区町村別将来推計人口(2005~2030年)」、(平成17年以降)

生活圏・経済圏の広域化

昭和30年前後のいわゆる「昭和の大合併」の際、湘南地域でも市町村合併が相次ぎました。その後、現在に至るまで湘南地域では市町の境界が変わっていません。しかし近年、交通・通信基盤の整備が進んだことにより、通勤・通学や買い物、通院、福祉サービス利用などの住民の生活圏や、企業の経済活動の圏域が拡大し、それぞれの市町の区域にとどまらず湘南地域全体に広がっています。例えば、自分の住んでいる市町以外の湘南地域へ通勤・通学する人(15歳以上)は、昭和35年の15,493人から平成12年の62,010人に増加しています。

また、行政の事務の共同処理が行われるなど広域行政の実績も蓄積されています。

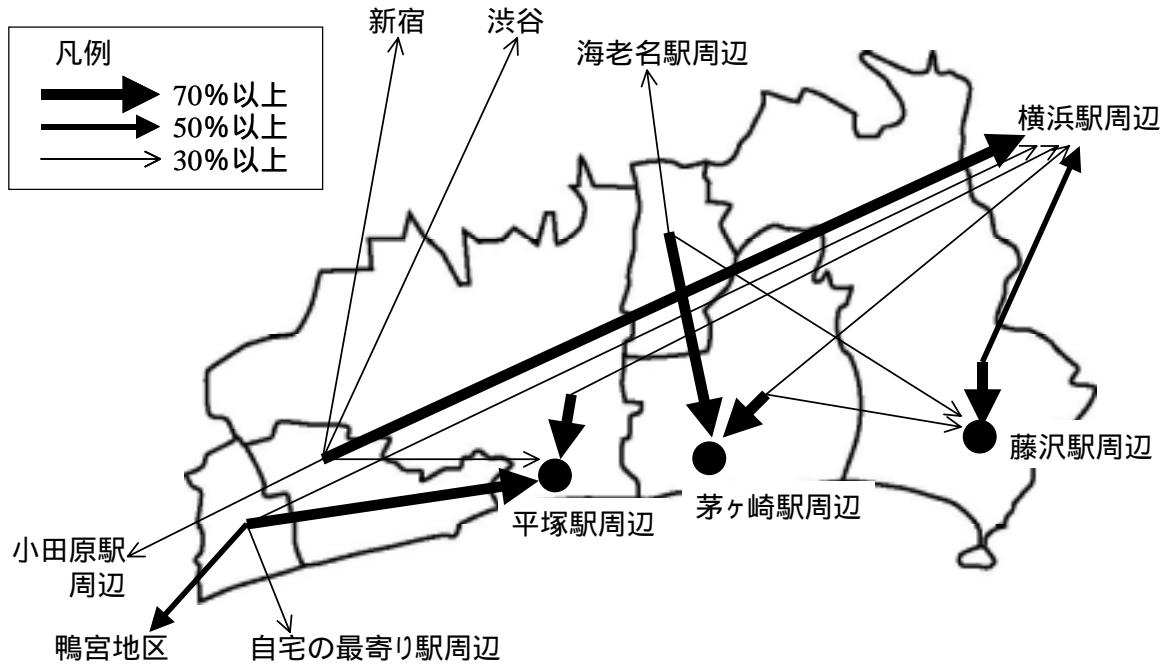
図表 16 湘南地域の 15 歳以上の常住者の就業先・通学先の推移 【 参考図表 16】



注：昭和 35 年の藤沢市から二宮町への就業者及び通学者数と寒川町から大磯町・二宮町への就業者及び通学者数は数値不明のため含まれない。

資料：総務省「国勢調査」(平成 12 年、昭和 35 年)

図表 17 湘南地域の市町村別買い物出向状況 (平成 13 年)



注：市町村別の「よく出かける繁華街」(3つまで回答)の比率

資料：(財)神奈川中小企業センター「神奈川県消費行動調査報告書」(平成 13 年度)

図表 18 主な広域行政等の状況

福祉・健康・医療の分野

- ・ 養護老人ホーム「湘風園」の運営（藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町）
- ・ 広域二次救急医療対策事業（平塚市、大磯町、二宮町）
- ・ 火葬事務の委託（茅ヶ崎市、寒川町）

教育・文化・自治の分野

- ・ 小中学校の教育事務の委託（藤沢市、茅ヶ崎市）
- ・ 公立図書館の相互利用（平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町）
- ・ 公立図書館の相互利用（平塚市、茅ヶ崎市）
- ・ 公立図書館の相互利用（藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町）
- ・ 公立図書館の相互利用（藤沢市、鎌倉市）

都市整備・都市計画の分野

- ・ 相模川新橋建設の研究（平塚市、茅ヶ崎市、寒川町）
- ・ 馬入の渡し、共通の課題に対する合同研修の実施（平塚市、茅ヶ崎市）
- ・ 金目川水害予防組合（平塚市、秦野市、伊勢原市）

環境・産業の分野

- ・ ごみ処理事務の委託（茅ヶ崎市、寒川町）
- ・ 広域的なごみ処理に関する研究（平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町）
- ・ 広域的なごみ処理に関する研究（藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町）
- ・ し尿処理事務の委託（茅ヶ崎市、寒川町）
- ・ ポスター作製等海水浴場誘客のための共同事業（平塚市、茅ヶ崎市、大磯町）
- ・ 観光客誘客のための共同広域宣伝対策事業
（平塚市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、大磯町、二宮町）
- ・ 湘南ビーチマラソン大会（大磯町、二宮町）
- ・ 葛川サミット（大磯町、二宮町、中井町）

総務・企画・防災の分野

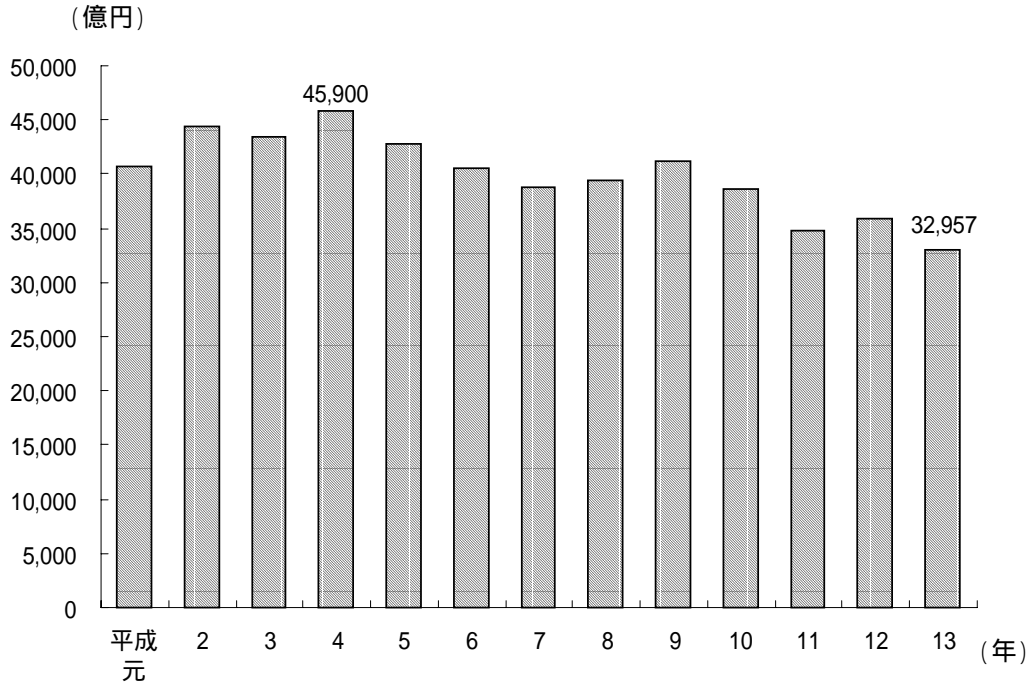
- ・ 災害時職員相互派遣
（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町）
- ・ 災害時相互応援（藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町）

産業構造の変化

経済のグローバル化の進展に伴い、日本の製造業をはじめとして産業構造が変化しています。湘南地域においても大規模な工場の撤退が課題となるなど東海道沿いの工業集積に変化がみられます。特に、湘南地域の産業は従業者数で見ると比較的製造業の比率が高いため、工場の撤退は地域の産業全体に対する影響は大きくなりつつあります。湘南地域の従業者数と事業所数は平成 8 年（1996 年）をピークに減少傾向に転じています。従業者数は 387,726 人（平成 8 年）から 365,641 人（平成

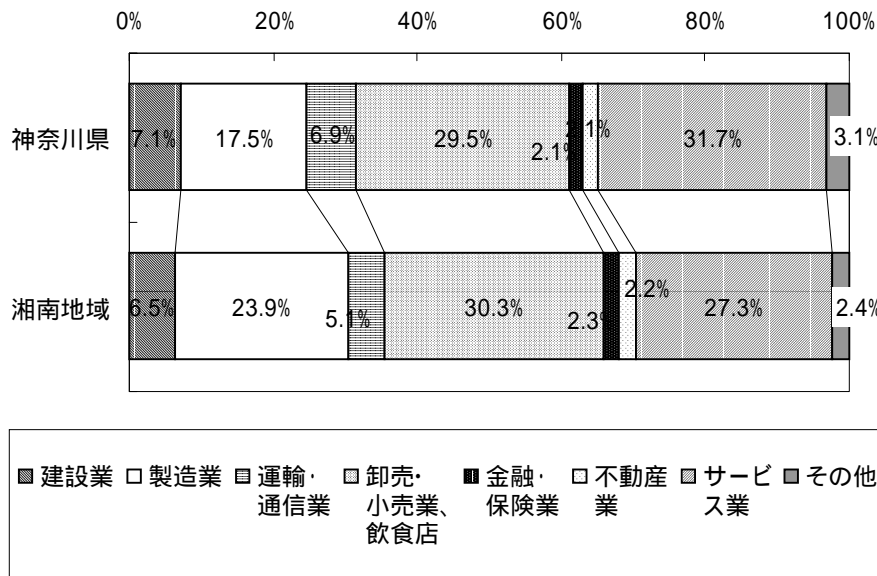
13年)と5年間で22,085人減少していますが、このうち製造業の減少は15,601人を占めています。

図表 19 湘南地域の製造品出荷額等の推移 【 参考図表 17】



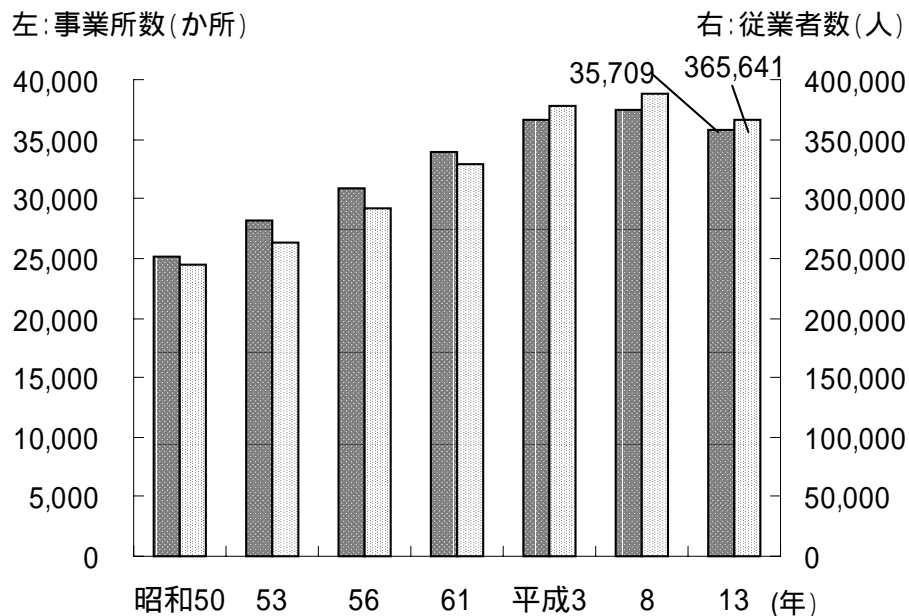
資料：経済産業省「工業統計調査」

図表 20 神奈川県と湘南地域の産業別従業者数比率 (平成 13 年) 【 参考図表 18】



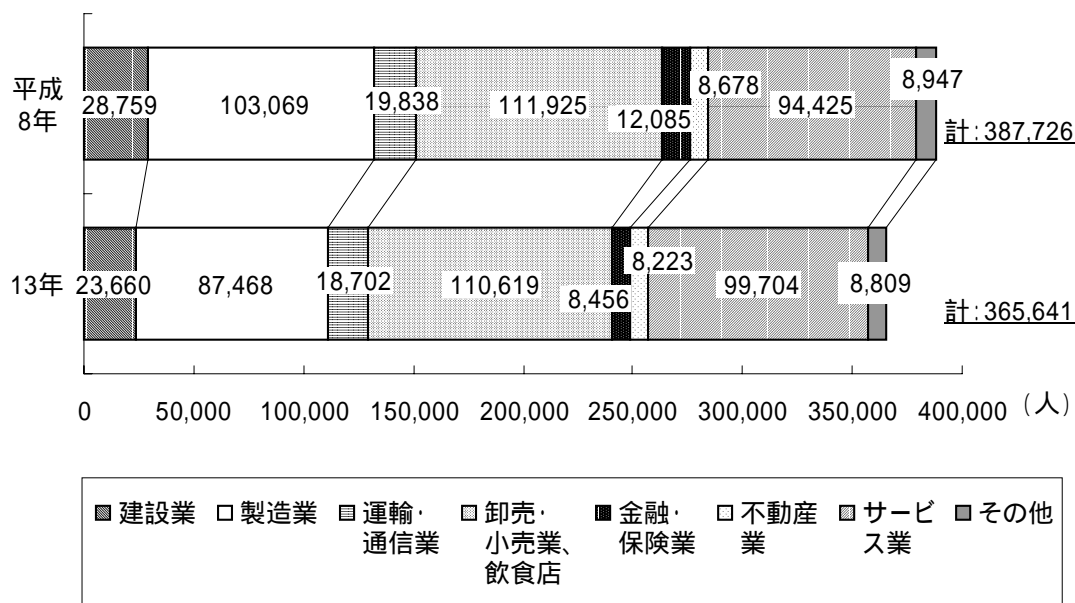
資料：総務省「事業所・企業統計調査」(平成 13 年)

図表 21 湘南地域の事業所数・従業者数の推移 【 参考図表 19、参考図表 20】



資料：総務省「事業所・企業統計調査」

図表 22 湘南地域の産業別従業者数の推移

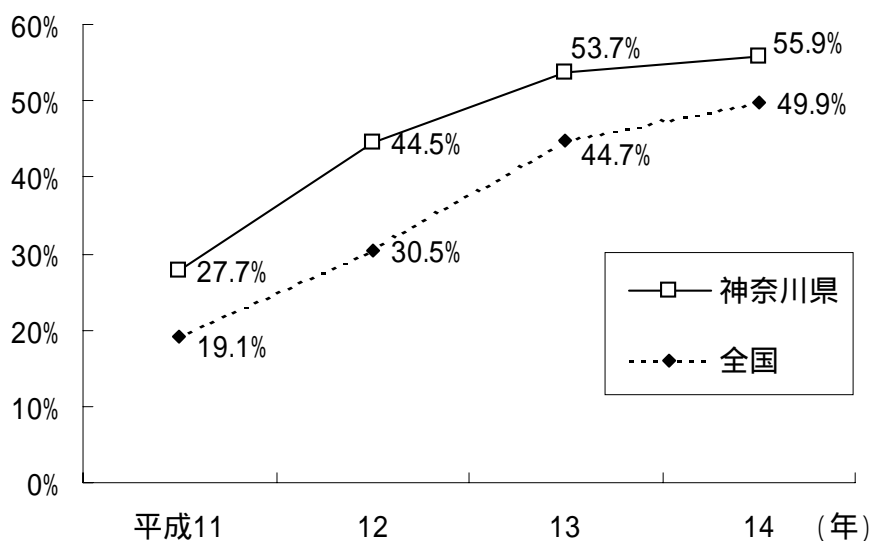


資料：総務省「事業所・企業統計調査」

情報化・ネットワーク化

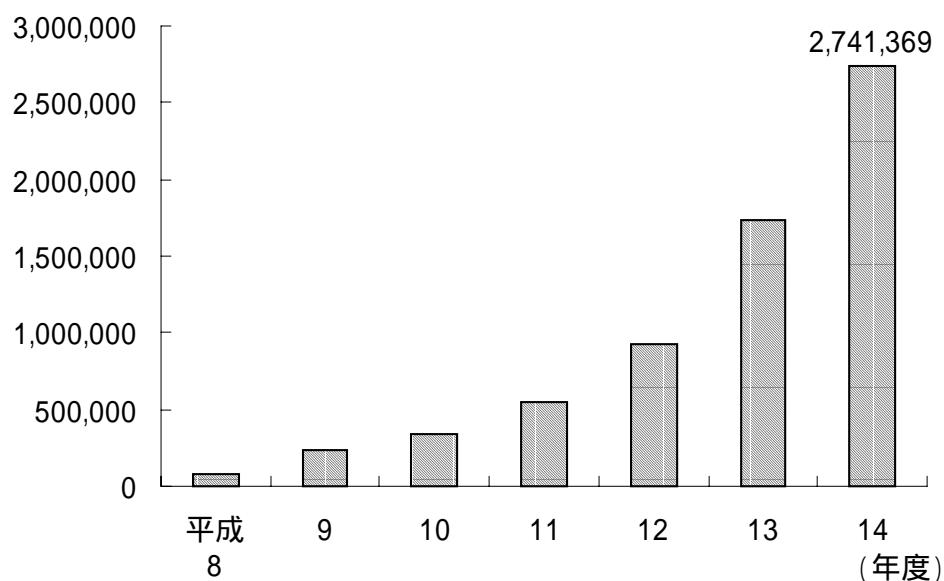
インターネットの普及に代表されるように、情報技術の急速な進歩により、日常生活から企業の経済活動まで、あらゆる分野で情報化が進展しています。そのため、湘南地域からもダイレクトに世界の情報を入手し、世界に向けて情報を発信することが可能となりつつあります。情報発信力が地域や都市の競争力を大きく左右する時代になっているといえます。また、誰もが情報を入手し、発信できる情報化社会への移行を背景として、日本の社会は上下関係が強調される階層型の社会から、自立する個人や企業、団体などが対等の関係で結びつきあう、ネットワーク型の社会に変貌しつつあります。

図表 23 インターネットの世帯普及率の推移

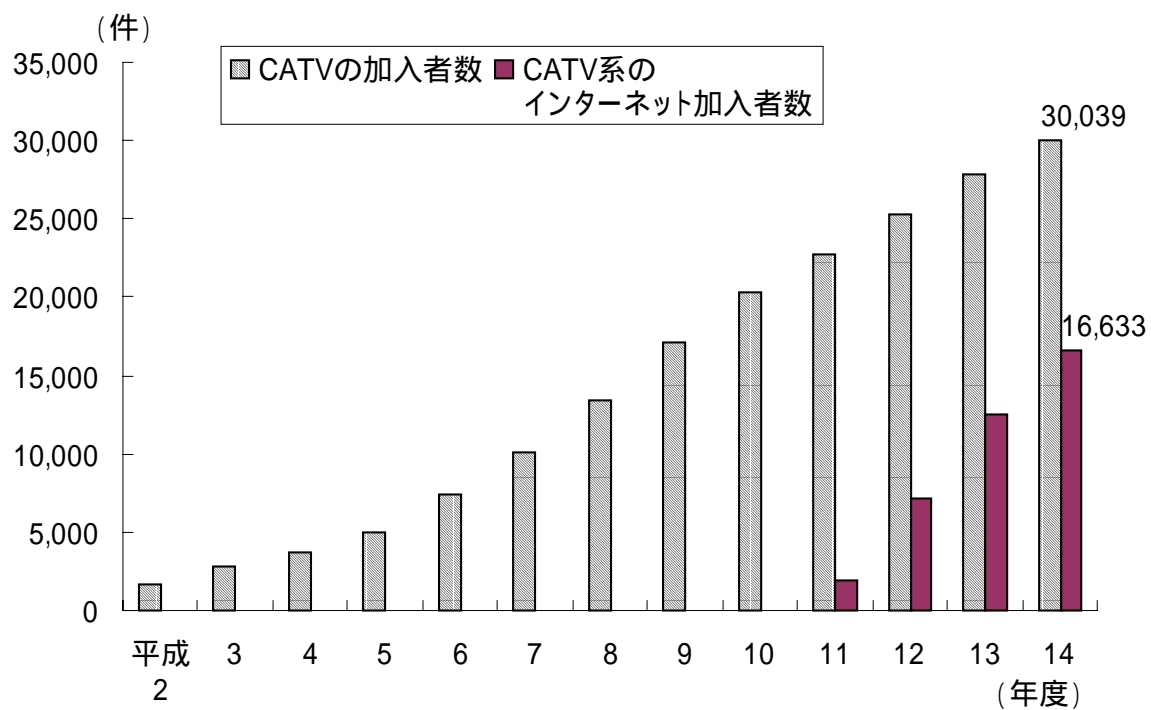


資料：(株)ビデオリサーチネットコム「インターネット普及状況調査」

図表 24 湘南地域の市町のホームページのアクセス数の推移 【 参考図表 21】



図表 25 湘南ケーブルネットワーク（サービスエリア：平塚市、二宮町、大磯町の一部）のCATV及びCATV系のインターネットの加入者数



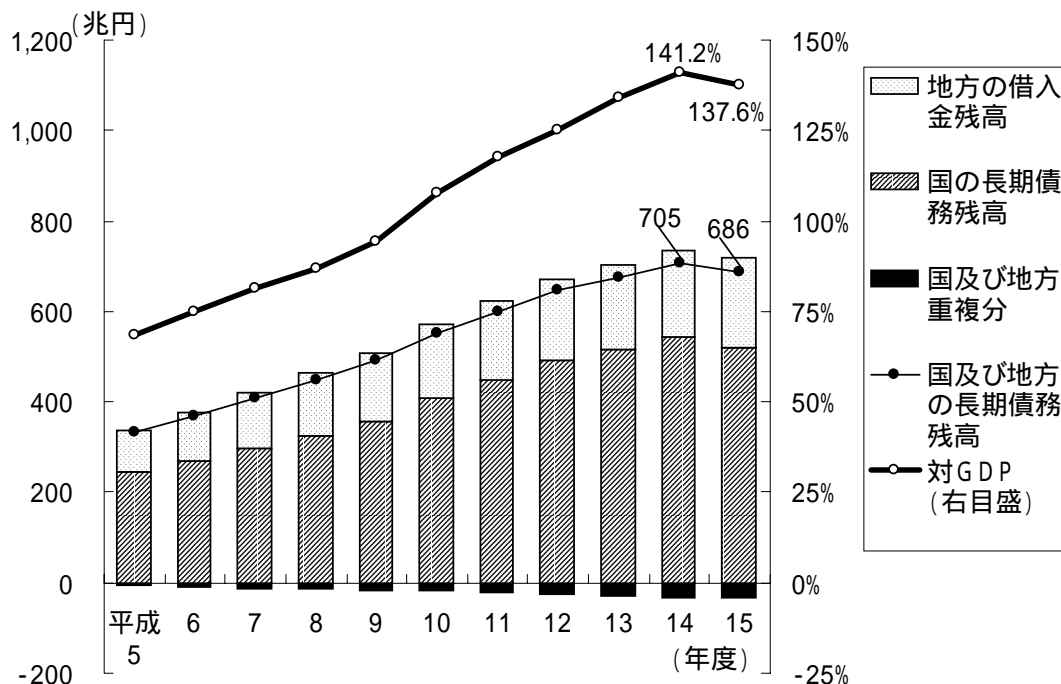
地方分権と厳しい財政状況

地域のことは地域の責任で地域自ら決めるという理念のもとに、平成12年(2000年)4月に地方分権一括法が施行され、住民に一番身近な市町村に国や県の権限が移譲される地方分権が推進されています。地方分権の時代では、国と市町村の関係が従来の上下関係から対等の関係へと大きく変化し、財政面も含めて市町村の自立が要請されています。

また、国及び地方団体は、厳しい財政状況が続いており、平成14年度末(2002年度末)の国及び地方団体の長期債務残高は705兆円程度になると見込まれています。この長期債務残高は、国内総生産(GDP)比141.2%に達すると予想され、主要先進国中では最悪の水準となります。湘南地域の3市3町の財政力は、2市1町が普通交付税の不交付団体であり、3市3町の平均財政力指数が1.03と比較的に恵まれています。しかし、国の財政状況の悪化に伴い、地方交付税制度や補助金制度などの国と地方団体との税財源のあり方が見直される中で、少子高齢化の進展とあいまって、3市3町の財政状況は一層厳しくなることが予想されます。

一方、環境問題の深刻化や少子高齢化の進展、情報化等により、住民の行政ニーズは高度化・多様化しており、市町村の行政サービスは複雑化・高度化しています。地域住民に対して必要な行政サービスを、責任を持って提供するために、効率的な行政運営を行い、高い専門性や自立的な財政力などを確保することが求められています。

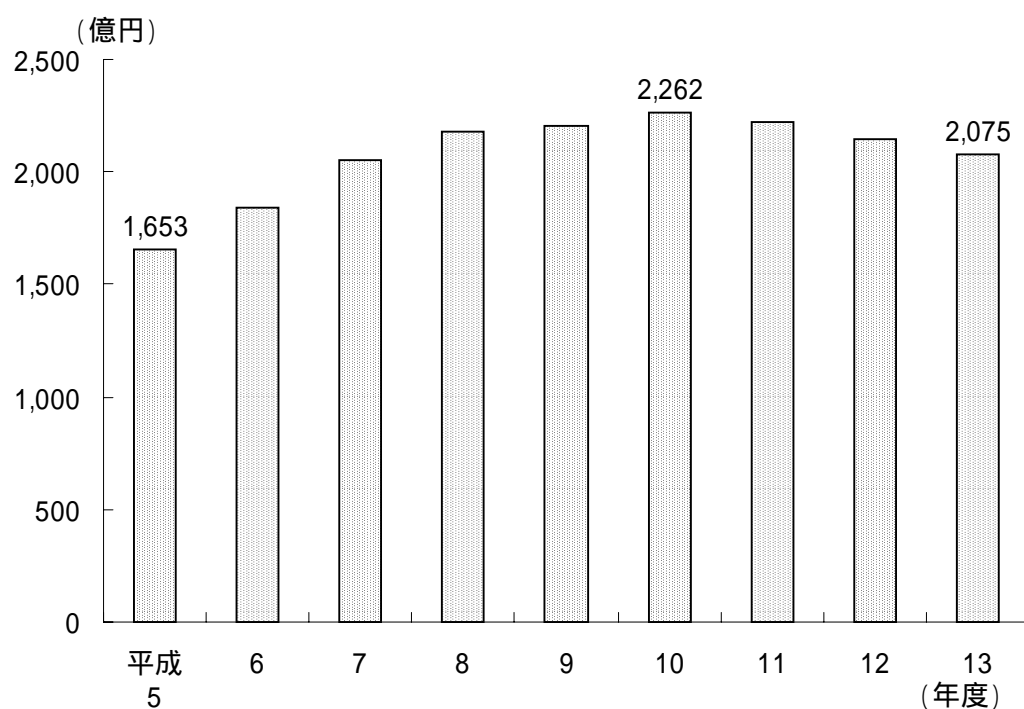
図表 26 国と地方の長期債務残高の推移



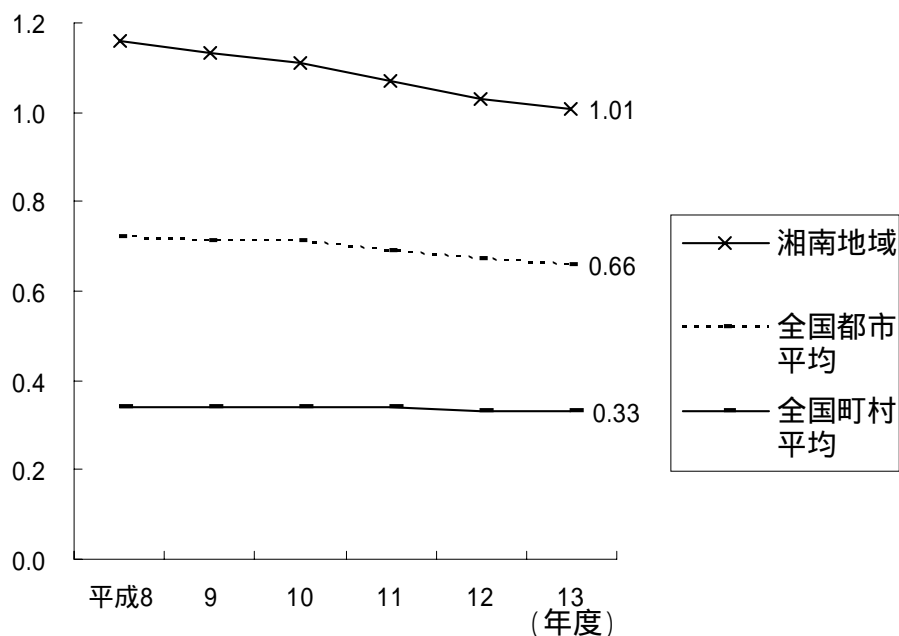
注：平成14年度は補正後、15年度は予算。

資料：財務省

図表 27 湘南地域の地方債残高（普通会計）の推移 【 参考図表 24】



図表 28 全国の都市・町村と湘南地域の財政力指数の推移 【 参考図表 25】



注：財政力指数とは、地方公共団体の財政基盤の強弱を示す指数で、標準的な行政活動に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表す。

資料：(財)地方財務協会「市町村別決算状況調」

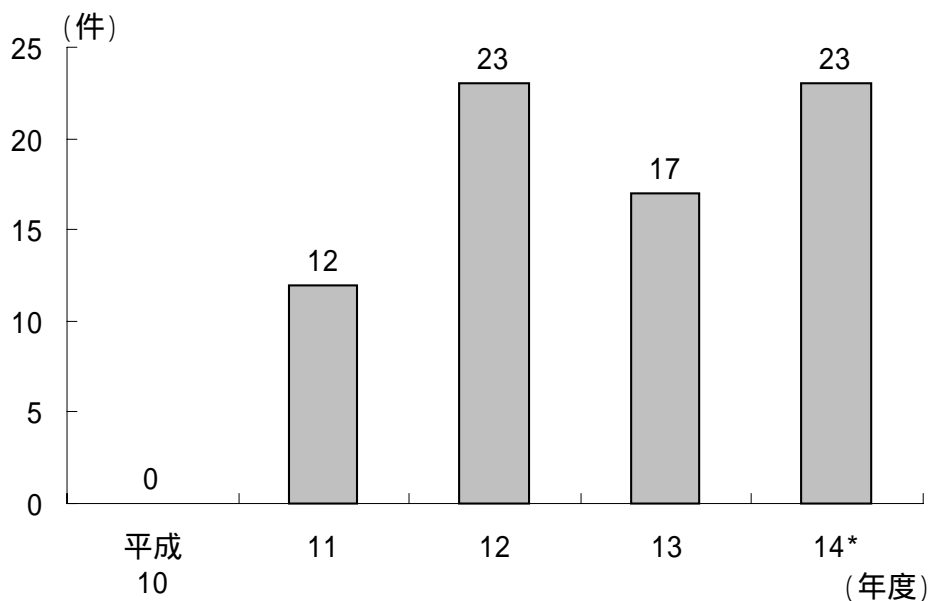
公共サービスの担い手の多様化

これまでわが国では公共サービスの主な担い手は行政でした。しかし、国、地方の厳しい財政状況は、行政による公共サービスの拡大を難しくしています。また、情報化とグローバル化が進み、人々の価値観が多様化した今日においては、行政の一元的、画一的なサービスだけで公共的ニーズに対応することは困難となりつつあります。

一方で、高度経済成長の時代にあっては、経済的価値の追求が人々の最大の関心事でしたが、価値観が多様化する現代社会においては、多くの人々が自らの好みにあわせて、人や社会に役立ちたい(公共的な価値を提供したい)、というニーズが強まっており、阪神大震災等を契機としたボランティア活動の活性化や、特定非営利活動法人(NPO法人)の認証件数の増加にそれがあらわれています。そのため、住民やNPO等の活動に対して、新たな公共サービスの担い手として期待する声が高まっています。

こうしたなか、住民やNPO等が行政とパートナーシップを構築し、公共的な課題に取り組んでいくことが重要となっています。

図表 29 湘南地域の特定非営利活動法人設立認証件数の推移 【 参考図表 27】



注 1 : 平成 14 年度は 15 年 2 月までの件数。

注 2 : 年度毎の認証件数であり、現在の団体数とは必ずしも一致しない。

資料 : 神奈川県

(3) 湘南地域の方向性

湘南地域の特徴である自然、歴史、文化、立地条件や蓄積された都市基盤、人的資源は、湘南地域のポテンシャルであり、「湘南」というブランドのアイデンティティを構成しています。これらを湘南地域の共有財産として活用しながら、湘南地域を取りまく社会経済条件の変化に広域的に対応していくことが求められています。湘南地域が取り組むべき対応の方向性として、「新しい生活文化／ライフスタイルの創造」、「新たな産業基盤の創出」、「コミュニティ活動の活性化とネットワーク化」、「行財政の効率化」が重要です。

新しい生活文化／ライフスタイルの創造

湘南地域は、多彩な生活空間をもち、自然環境や歴史・文化に恵まれた地域です。この湘南地域のポテンシャルを活かして、職、住、学、遊が楽しめる、新たなライフスタイルを創造していくまちづくりが必要です。

文化やスポーツ活動を通じて住民相互の交流をさらに深め、豊かな文化に恵まれた満足度の高い生活、新しい生活文化の創造が重要です。

新たな産業基盤の創出

湘南地域は、首都圏の南西部の東海道沿いに立地しています。また、今後はさがみ縦貫道や新幹線新駅の建設などが予定されるなど広域交通面で恵まれた状況にあります。一方、高度な研究・教育機関もあり、新たな産業創出の高いポテンシャルがあります。しかし、地域の基幹産業である製造業は産業構造の変化に伴う課題を抱えています。

今後は産学の連携を広域的に進め、製造業をより付加価値の高い研究開発型に移行するとともに、産業構造のソフト化・サービス化に対応した新規産業の創出や、新規産業を支える人づくりを進めていくことが重要です。

コミュニティ活動の活性化とネットワーク化

少子高齢化が進む中で、地域における良好な子育て環境づくりとともに、子どもから高齢者まで、全ての世代が支え合い、社会に関わり、参加していくことができる地域社会をつくっていく必要があります。

湘南地域の住民は、文化・スポーツ活動や、社会や地域の課題に取り組む住民団体やコミュニティ団体の活動に積極的に取り組んでいます。それぞれの地域の活動や課題には共通するものも多く、今後は住民主体のこうした動きが広域的に連携していくことが期待されます。さらに、住民と行政とがパートナーシップを構築して、地域に共通する課題に有効に対処していくことが重要です。

地域経営能力向上と行財政の効率化

厳しい財政状況や少子高齢社会を迎える中で、地方分権の流れに対応し、良質な行政サービスを維持・向上していくためには、広域的視点から地域を運営する力を高め、健全な財政運営を行うことが必要です。湘南地域3市3町が一つの市となることで、これまで蓄積された多様な都市機能の集約・連携を図り、行政組織のスリム化や公共施設の広域的な活用、情報技術の積極的導入を行うことで、行政サービスの効率化と向上を進めることが重要です。

2. 「湘南市」の将来都市像

前章で検討した湘南地域のポテンシャル、取り巻く社会経済条件、方向性を踏まえ、湘南市の将来都市像を以下のように提案します。

人と自然とまちが奏でる「交響都市」

～日本の「湘南」から世界の“SHONAN”への飛躍～

ゆるやかに弧を描く湘南海岸と母なる相模川に抱かれ、富士・箱根を望む湘南は、日本の大動脈である東海道沿いに位置し、豊かな伝統文化と自然に恵まれた温暖で風薫る美しい風景をもち、100万に迫る人々が生活する地域です。

この湘南に位置する3市3町は、それぞれの魅力あふれる地域資源を活かして「湘南市」として一つにまとまります。そして、3つの基本理念に則りまちづくりを進め、日本の「湘南」から世界の“SHONAN”へ飛躍します。

基本理念1：新ライフスタイル発信都市

良好な住宅地、最先端の産業・学術・研究拠点と豊かな自然環境をあわせもつ湘南市は、住まいの近くで働き、学び、遊ぶことができる豊かでゆとりとやすらぎのある新しいライフスタイルを発信する都市です。少子高齢社会に生きる誰もが、自立した個人として互いに尊重しあい、新しい生活文化づくりに積極的に挑戦しながら、潤いのある生活を楽しむことができます。

基本理念2：知的創造都市

環境にすぐれ、交通、教育文化、医療、産業など多様な都市機能が集約され連携する湘南市は、付加価値の高い産業と個性豊かな芸術文化を生み出し、情報を世界に発信する知的創造都市です。湘南がもつ独創的なライフスタイルに魅力を感じ、チャレンジ精神に富む知性高い人々が集い、活動する創造の核となります。

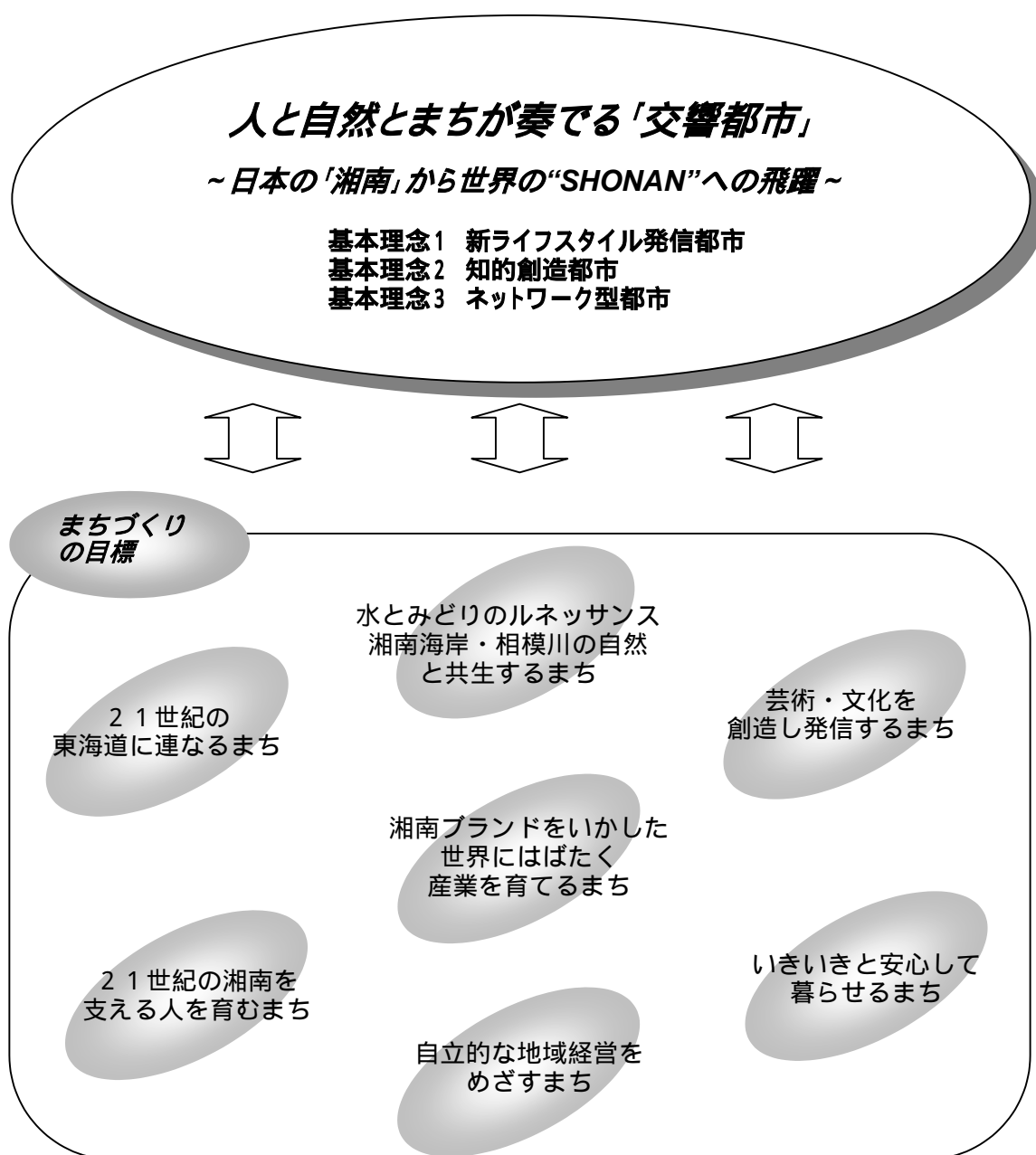
基本理念3：ネットワーク型都市

人々の活力があふれ、多彩な地域資源をもつ湘南市は、まちとまち、人と人とが、お互いに連携し協調しあい、全体の魅力を高める、多核構造からなるネットワーク型都市です。住民、企業、NPO、行政などによる新たな協働のネットワークが生まれ、未来を拓く都市を形成します。

湘南市は、これまで蓄積された共有財産と育まれた歴史文化を活かし、人と自然とまちが奏でる「交響都市」をめざします。

3. 「湘南市」のまちづくりの目標

「湘南市」の将来都市像を実現するために、水とみどりのルネッサンス 湘南海岸・相模川の自然と共生するまち、21世紀の東海道に連なるまち、芸術・文化を創造し発信するまち、湘南ブランドをいかした世界にはばたく産業を育てるまち、21世紀の湘南を支える人を育むまち、いきいきと安心して暮らせるまち、自立的な地域経営をめざすまち、の7つをまちづくりの目標として取り組んでいきます。



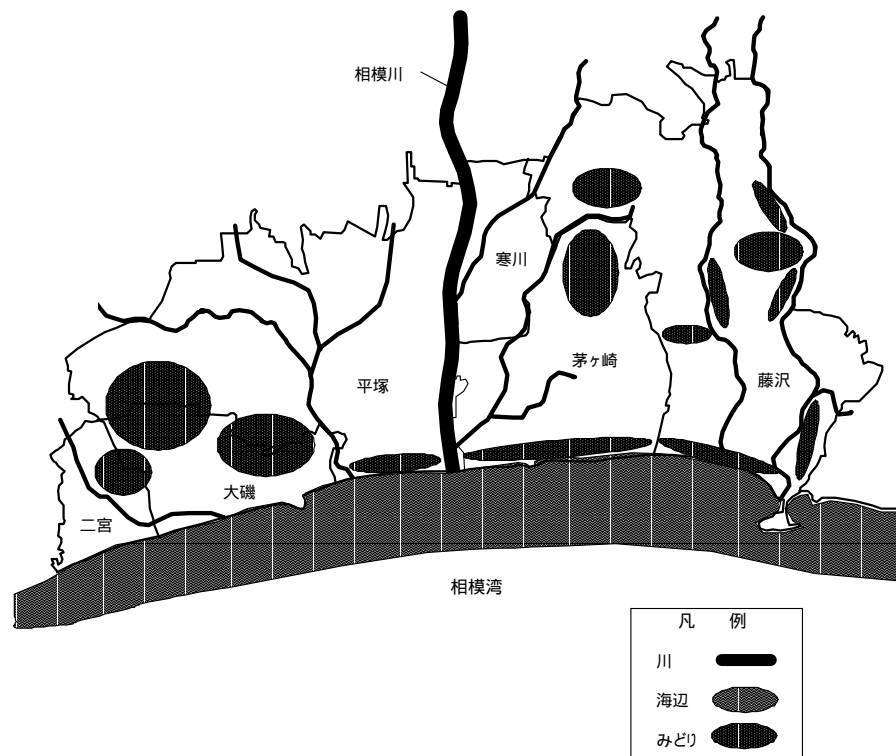
水とみどりのルネッサンス 湘南海岸・相模川の自然と共生するまち

湘南海岸や相模川、そして周囲の丘陵や住宅地の緑に恵まれた湘南市は、自然環境の素晴らしさを享受しながら都市の賑わいも楽しめるリゾート都市です。大切な自然環境を次世代に伝えるため、環境と共生するまちづくりが必要です。

まちづくりのテーマ

- ・ 湘南の顔である湘南海岸や相模川の保全と整備
- ・ 地域を織りなす川や丘をつなぐ緑のネットワークづくり
- ・ 環境への負荷の少ない資源循環型社会の構築
- ・ 成熟した市街地におけるみどりの住環境づくり
- ・ 湘南海岸沿いの一体感ある景観ラインの形成

まちづくりの目標に関連する現況の参考図例 自然・環境ゾーン



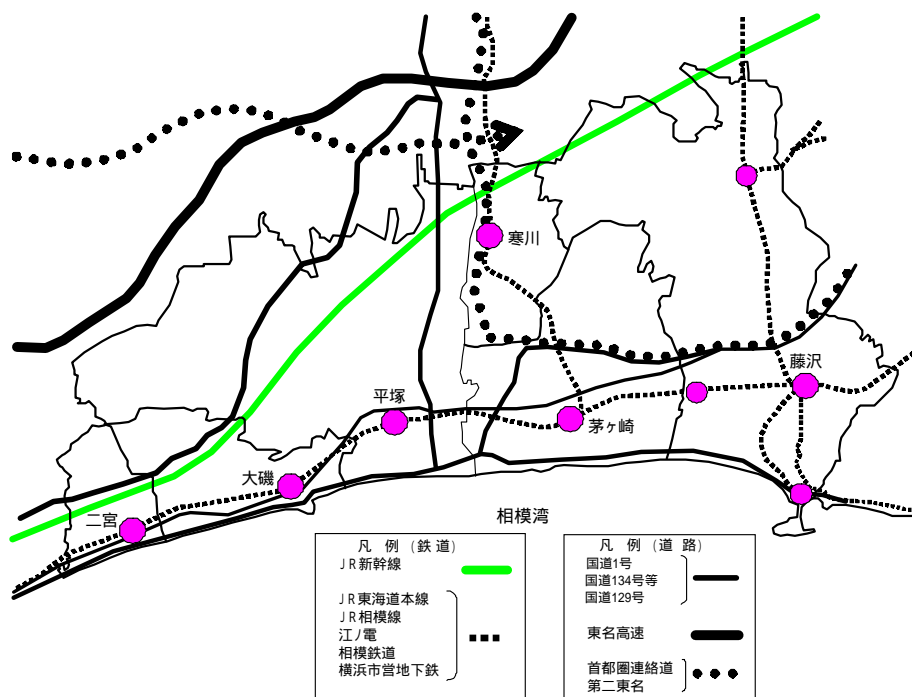
21世紀の東海道に連なるまち

湘南地域は東海道を通じて東京と、そして全国とつながっていました。今後はさがみ縦貫道や新幹線新駅などの広域交通基盤が整備され、東西及び南北の交通軸を通じて日本全国、そして世界との結び付きが一層強まります。21世紀の交通基盤整備の動きに応じたまちとするために、広域的な交通・湘南地域の交通・都市基盤の整備が必要です。

まちづくりのテーマ

- ・ 全国につながる広域交通体系の整備促進
- ・ 100万市民の足となる快適で効率的な交通ネットワークづくり
- ・ みちと歴史の視点からの東海道を結ぶ既成市街地の再生
- ・ 整備された都市基盤を活用した個性輝くまちづくり
- ・ 都市環境充足に向けての都市基盤整備
- ・ 既存施設の広域的活用と連携強化

まちづくりの目標に関連する現況の参考図例 交通体系



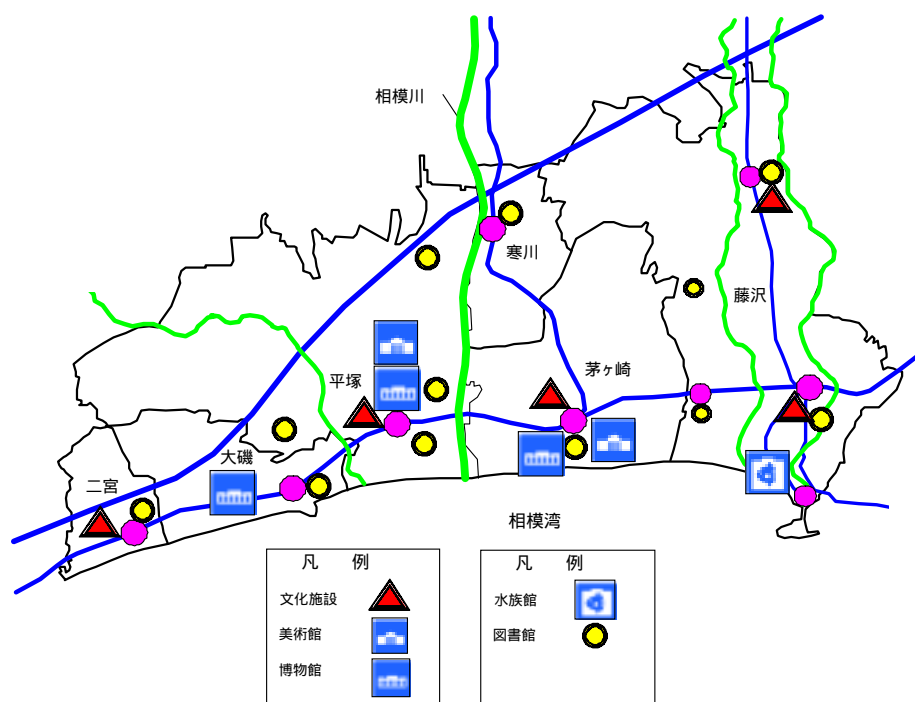
芸術・文化を創造し発信するまち

古くより多くの文化人を魅了してきた湘南地域は、今でも音楽、演劇、囲碁、サッカーなど文化・スポーツ活動に多くの住民が積極的にかかわっています。それぞれの地域が持つ個性豊かな文化を活かしながら、世界に名を馳せる新たな湘南文化を創造していきます。そして、文化・スポーツ活動を通じて、住民間の交流を深め、豊かなライフスタイルを発信するまちづくりが必要です。

まちづくりのテーマ

- ・ 地域の伝統文化を継承したまちづくり
- ・ 湘南に育まれた新たな文化・芸術の創造と世界への発信
- ・ 湘南の自然と歴史を学ぶ、情報発信拠点のネットワークづくり
- ・ 住民主体の文化活動の広域的な連携による新たな展開
- ・ 地域主体の総合的なスポーツ活動の育成

まちづくりの目標に関連する現況の参考図例 主な文化施設



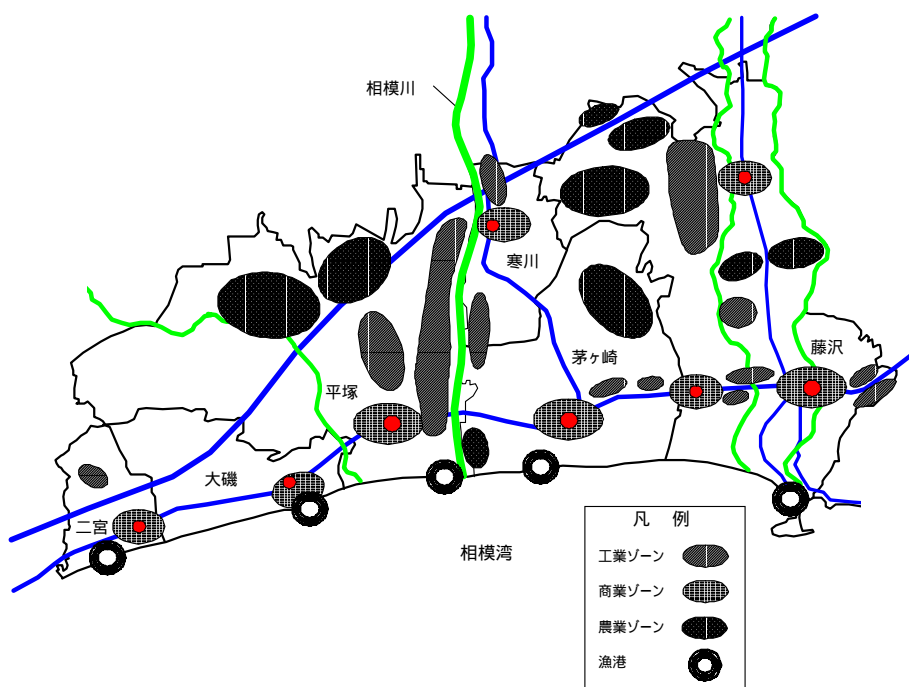
湘南ブランドをいかした世界にはばたく産業を育てるまち

美しい自然・風景をもつ地域に学術や新しい知的産業が集積するのが世界的な傾向です。日本では、歴史・文化を有し、研究機関が集まり、リゾート地である湘南市が、学術や先端産業の集積地になります。「湘南ブランド」に彩られたリラックスした生活・研究環境を求めて、世界の知が集い、学術や新たな高付加価値型の産業を生み出すまちづくりが必要です。同時に、「湘南ブランド」と100万都市としてのスケールメリットを積極的に活用して、地場産業の振興と活性化が必要です。

まちづくりのテーマ

- ・ 湘南に立地する大学等の研究機関と連携した研究開発型産業の拠点づくり
- ・ 産学官の連携とベンチャー企業支援
- ・ 湘南に生まれた「知的財産」の育成と工業の振興
- ・ 湘南の響き合う文化を表現するデザイン・映像・音楽などの芸術文化産業の振興
- ・ 自然に恵まれた湘南の地をいかした映画ロケ等への提供
- ・ 生産と消費を結びつけた都市農業と漁業の振興
- ・ 拠点商業の連携による再生と個性ある地域商業の発展
- ・ 海と川を軸とした観光資源の広域連携と活性化

まちづくりの目標に関連する現況の参考図例 産業ゾーン



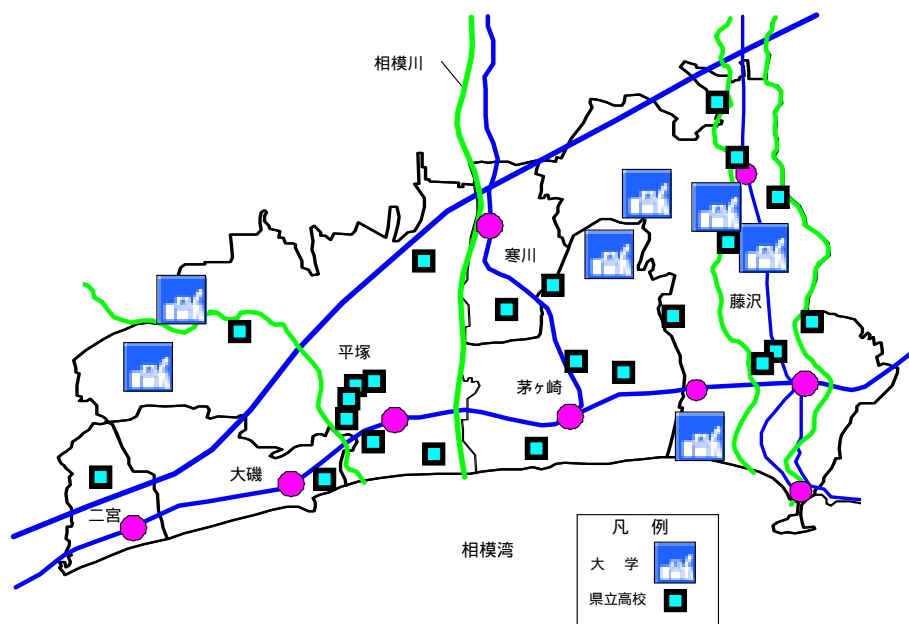
21世紀の湘南を支える人を育むまち

湘南市の明日を担う子どもたちを育むため、良好な教育環境づくりが必要です。また、すべての世代がそれぞれの関心に応じた学びを続けることができる環境づくりをめざし、生きがいに貢献するとともに、湘南の産業や文化、そして地域コミュニティを支える人づくりが必要です。

まちづくりのテーマ

- ・ 学校と産業や地域社会との連携による開かれた教育システムづくり
- ・ 小・中・高の総合的体系的公教育の展開
- ・ 大学と連携しての世界の湘南を担う国際人づくり
- ・ 活力ある市民社会を支える人材育成のシステムづくり
- ・ 湘南の歴史・文化や環境に学ぶ生涯教育の充実

まちづくりの目標に関連する現況の参考図例 高等教育機関



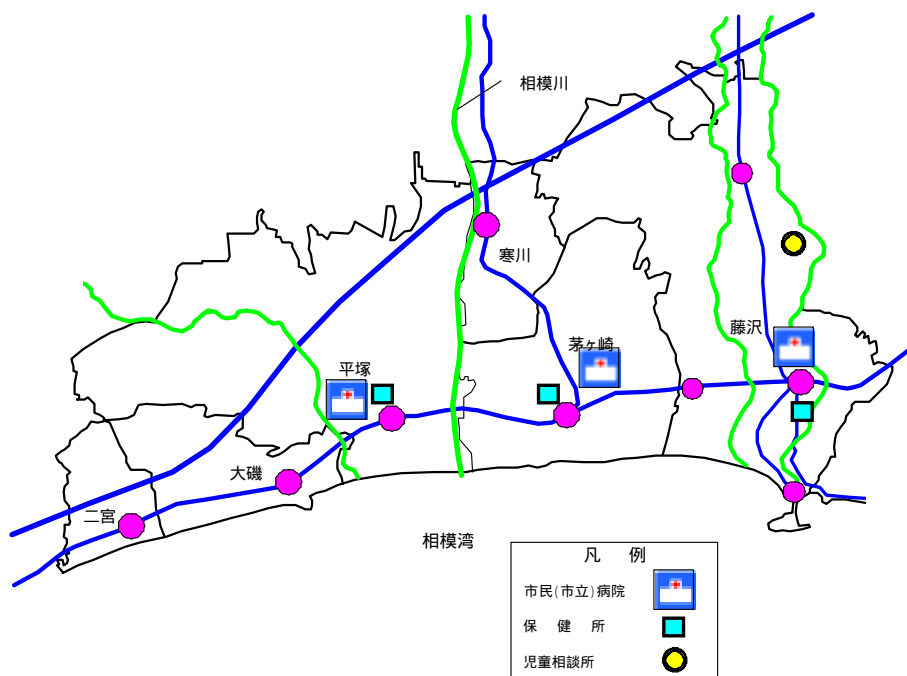
いきいきと安心して暮らせるまち

少子高齢社会に入った今日、子どもから高齢者、障害者や外国人などを含む全ての世代の人々が安心して暮らすことのできるまちづくりが必要です。同時に、一人ひとりがそれぞれのやり方での社会参加やライフスタイルを追求して、生きがいをもって暮らすことができるまちづくりが必要です。

まちづくりのテーマ

- ・ 安心して子どもを育てられる環境づくり
- ・ 生涯現役社会として働ける雇用の場づくり
- ・ 高齢者等が主体的にまちづくりや社会活動に参加できる環境整備
- ・ 広域的観点からの高度医療や福祉サービスの供給体制整備
- ・ ユニバーサル・デザインによるまちづくり
- ・ 広域的な防災体制の強化

まちづくりの目標に関連する現況の参考図例 市立病院・保健所・児童相談所



自立的な地域経営をめざすまち

住民と行政とが緊密なコミュニケーションを取りながら、住民と行政とのパートナーシップづくりに積極的に取り組み、住民と行政とが適正な役割分担のもと、協働でまちづくりを進めることが必要です。そのために、情報公開等による行政の説明責任や、行政に対する住民のチェック機能が求められます。

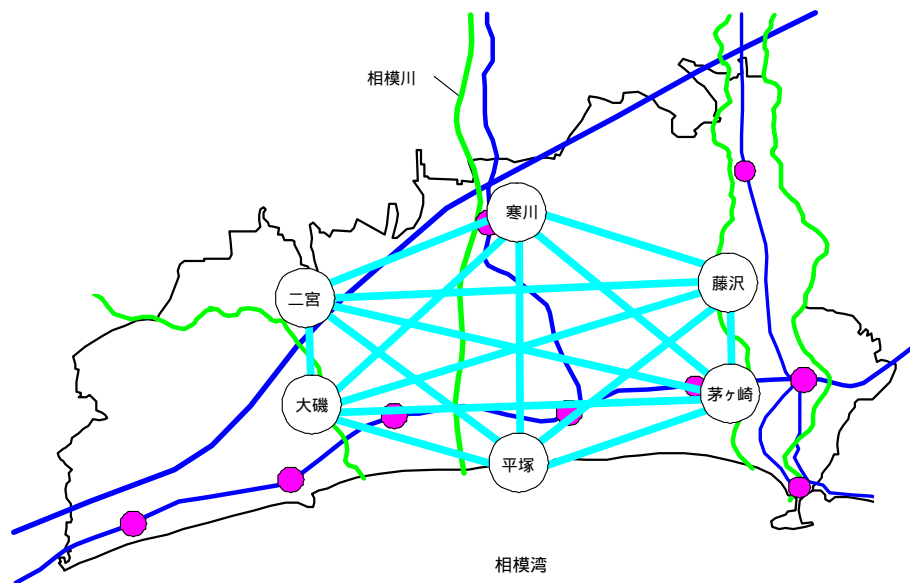
協働によるまちづくりは、湘南市全体で進めるとともに、それぞれの地域単位でも独自性を活かしながら進める必要があります。

また、行財政のスリム化や情報技術を活用して、行政運営上も財政上も自立する都市を構築し、一層の住民サービスの向上が必要です。

まちづくりのテーマ

- ・ 住民と行政の協働による、地域の独自性を活かしたまちづくりの推進
- ・ 広域化による良質な住民サービスの提供
- ・ IT化による住民サービスの向上
- ・ 効率的で自立的な行財政運営
- ・ 新たな自治のネットワーク化

自治体間ネットワーク図 広域連携と自主性



4. 「湘南市」がめざすべき地方制度

湘南市がめざす将来都市像を実現するには、7つのまちづくりの目標に示される広範な行政サービスを、総合的な視野をもち、市民と行政が協働しながら、自治体としての責任をもって展開しなければなりません。そのために、まちづくりを進めることのできる幅広い権限と財源をもつことと、個性ある地域の発展と自治を深める仕組みをもつことが必要です。3市3町が単に一つになるのではなく、湘南市がどのような地方制度をめざすかが、重要な鍵となります。

現行の地方制度の中で最も効果的な制度を活用することとともに、地方制度の改革の動向を見据え、めざすべき地方制度を検討する必要があります。

まず、現行の地方制度のもとで、

魅力を高める有効な施策を推進するために、権限の移譲と財源確保による自立した都市となること

特色ある歴史・文化を有するそれぞれの地域の多様性を活かすために、都市内自治の仕組みを確立すること

の視点から検討すると、政令指定都市をめざすことが求められます。

政令指定都市とは、人口100万人規模で、国から政令で指定される都市です。政令指定都市となると、従来、一般市で行っている行政サービスに加え、現在神奈川県のある保健所や児童相談所の設置運営、国道道の維持管理、小中学校職員の任免などを市の行政サービスとして行うこととなります。そして、総合的な行政サービスの提供や各種の許認可で県知事の関与が無くなり、直接国との協議による事務処理時間の短縮、住民に身近な行政を行う行政区と区役所の設置、新たに増加する事務に対応する石油ガス譲与税等の交付と地方道路譲与税の増額等の財源の増加など各種の特例があります。

現在、政令指定都市には13の都市が指定されています。

さらに、現在、新たな広域行政の仕組みとして、合併特例法において地域審議会が規定されているほか、市町村連合制度の創設や市町村内部における地域自治組織の設置などの考え方が提案されています。

一方、既成の政令指定都市では、地方分権や住民と行政との協働の進展に伴い、地域ごとのまちづくりを進める仕組みとして「区民会議」や「区民まちづくり会議」などの実践がなされていたり、行政区における裁量予算の拡大など行政区の権限や機能の強化の検討がなされているように、政令指定都市での地域を活かす仕組みの論議が高まっています。

湘南市は、政令指定都市を含め、湘南市の地域特性を活かすことのできる地方制度について検討していく必要があります。

図表 30 政令指定都市移行の要件

法令要件	<ul style="list-style-type: none"> ・政令で指定する人口50万人以上の市
実質要件	<ul style="list-style-type: none"> ・人口100万人程度(指定時は80万人程度でも、将来100万人になることが見込める)。(合併特例法の期限内に合併をした場合、人口要件を70万人程度に緩和) ・人口密度が2,000人/km²程度。 ・第1次産業就業人口比率が全就業人口比率の10%以下。 ・県からの移譲事務を適正かつ能率的に処理できる能力など、大都市の経営に対応できる行財政能力が備わっている。 ・都市的形態・機能を備えている。 ・行政区を設置し、区の事務を処理する体制(区役所)が実質的に整っている。 ・政令市移行について、県と市の意見が一致している。

図表 31 市町村の区分毎の事務配分の具体例

主な事務	政令指定都市	中核市	特例市	市	町村
戸籍、住民基本台帳、老人福祉、 小中学校の設置管理、清掃、 産業振興、地方税の賦課徴収	↓	↓	↓	↓	↓
福祉事務所の設置				↓	
市街化区域内の開発行為許可 市街化開発事業地区内の建築の許可 騒音・振動を規制する地域の指定			↓		
養護老人ホームの設置許可 身体障害者手帳の交付 保健所の設置	↓	↓			
国道・県道の管理 小中学校教員の任免					
警察 義務教育職員給与負担					

注：平塚市・茅ヶ崎市は特例市。

資料：神奈川県「これからのまちづくりと市町村合併」

図表 32 政令指定都市移行により収入となる主な財源

新たに収入となるもの	: 石油ガス譲与税、軽油引取税交付金、宝くじ発行に伴う収益事業収入
既存の収入が増額されるもの	: 地方道路譲与税、自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金、基準財政需要額の増額に伴う普通交付税

図表 33 合併等に伴う新たな広域行政の仕組みについての考え方

地域審議会（合併特例法第5条の4）

- ・ 合併関係市町村の協議により、期間を定めて合併市町村に、合併関係市町村の区域であった区域ごとに、当該合併市町村が処理する当該区域に係る事務に関し合併市町村の長の諮問に応じて審議し又は必要と認める事項につき合併市町村の長に意見を述べる審議会(以下「地域審議会」という。)を置くことができる。

地域自治組織（地方制度調査会専門小委員会で検討しているもの）

- ・ 基礎的自治体の事務のうち地域共同体的な事務を処理するため、合併市町村において、合併前の旧市町村単位で「地域自治組織」を設置できるよう検討を行っている。

市町村連合（全国町村会で提案されているもの）

- ・ 市町村間の協働・多核連合型の広域行政制度として、市町村が規約により設立する特別地方公共団体として、「市町村連合」を提案している。

図表 34 政令指定都市における行政区の権限・機能の強化についての主な取り組みや検討

横浜市

- ・ 市民サービスの拠点である区役所の仕事の分野を広げ、権限・責任を強化する観点から、自律的な組織運営のできる行政区を実現するために予算、人員、組織の権限と責任を行政区に移転する。

大阪市

- ・ 地域に密着したきめ細かい事業の展開や事業の総合的調整、利用者の立場に立った市民サービスの一層の向上などをめざし、区役所の機能を充実強化する。

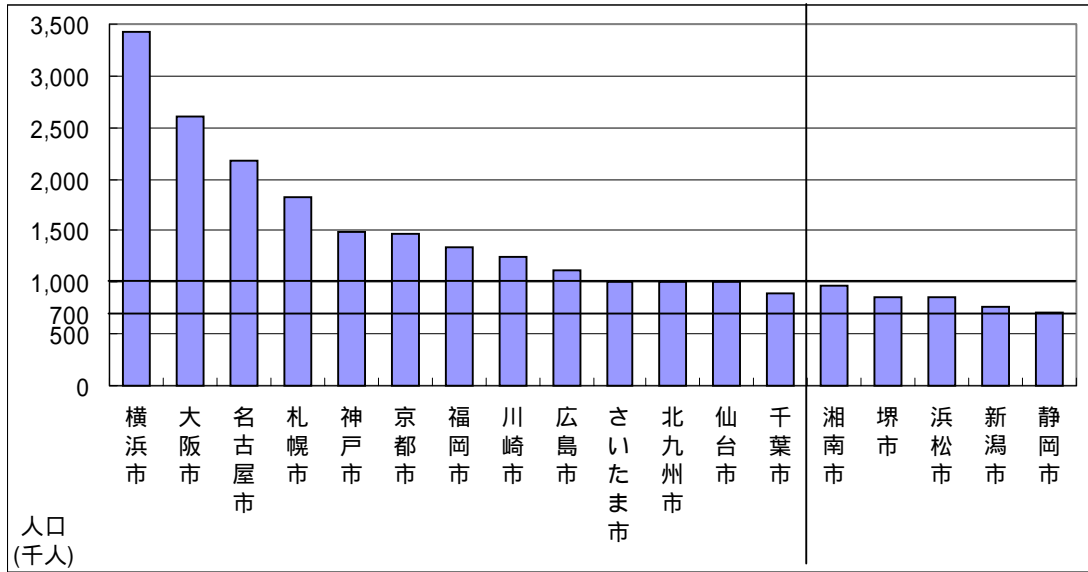
川崎市

- ・ 地域主体のまちづくりを進めるため、「地域における行政サービスの提供拠点」と「区民と行政の協働の拠点」としての区役所の機能を強化する。

千葉市

- ・ 市民サービスの向上を図るため、市民に身近な区役所で行えるよう権限委譲を一層推進する体制を整備する。

図表 35 政令指定都市等の人口（平成 12 年 10 月 1 日現在）



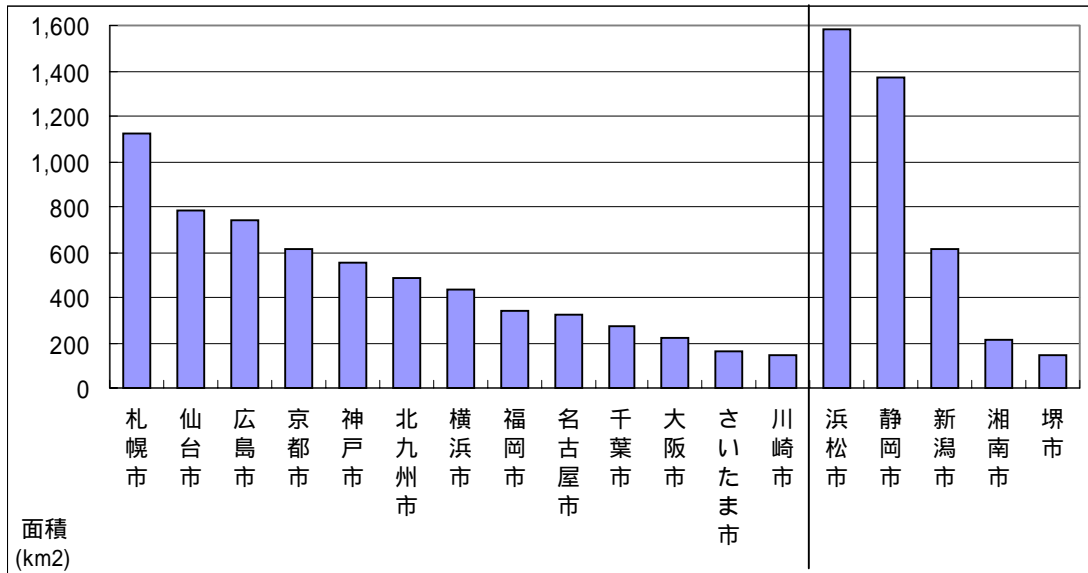
さいたま市は、浦和市・大宮市・与野市の合計値

以下の都市は、各協議会等で想定している市町村の合計値

湘南市〔平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町・大磯町・二宮町〕、堺市〔堺市・高石市〕、浜松市〔浜松市・浜北市・湖西市・天竜市・舞阪市・新居町・雄踏町・細江町・引佐町・三ヶ日町・春野町・佐久間町・水窪町・龍山村〕、新潟市〔新潟市(黒崎町含む)・新津市・白根市・豊栄市・小須戸町・横越町・亀田町・西川町・味方村・湯東村・月潟村・中之口村〕、静岡市〔静岡市・清水市〕

資料：総務省「国勢調査」(平成 12 年)

図表 36 政令指定都市等の面積（平成 12 年 10 月 1 日現在）



さいたま市は、浦和市・大宮市・与野市の合計値

以下の都市は、各協議会等で想定している市町村の合計値

湘南市〔平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町・大磯町・二宮町〕、堺市〔堺市・高石市〕、浜松市〔浜松市・浜北市・湖西市・天竜市・舞阪市・新居町・雄踏町・細江町・引佐町・三ヶ日町・春野町・佐久間町・水窪町・龍山村〕、新潟市〔新潟市(黒崎町含む)・新津市・白根市・豊栄市・小須戸町・横越町・亀田町・西川町・味方村・湯東村・月潟村・中之口村〕、静岡市〔静岡市・清水市〕

資料：総務省「国勢調査」(平成 12 年)

図表 37 政令指定都市の政令施行日

市名	政令施行日
横浜市	S31.09.01
大阪市	S31.09.01
名古屋市	S31.09.01
札幌市	S47.04.01
神戸市	S31.09.01
京都市	S31.09.01
福岡市	S47.04.01
川崎市	S47.04.01
広島市	S55.04.01
さいたま市	H15.04.01
北九州市	S38.04.01
仙台市	H01.04.01
千葉市	H04.04.01

図表 38 政令指定都市の行政区

市名	区の数	区の人口(人)		
		最大	最小	平均
横浜市	18	294,305	78,320	190,370
大阪市	24	201,722	50,188	108,282
名古屋市	16	209,982	62,625	135,722
札幌市	10	260,114	110,102	182,237
神戸市	9	235,758	105,464	165,933
京都市	11	287,909	44,813	133,435
福岡市	7	269,307	126,468	191,639
川崎市	7	200,040	136,487	178,558
広島市	8	204,636	75,435	140,780
さいたま市	9	164,825	81,759	116,833
北九州市	7	260,452	65,045	144,496
仙台市	5	277,743	129,717	201,626
千葉市	6	179,892	101,829	147,861
13市計	137	294,305	44,813	156,752

資料：総務省「国勢調査」(平成12年)

さいたま市は住民基本台帳人口と外国人登録人口の合計(平成15年2月1日現在)

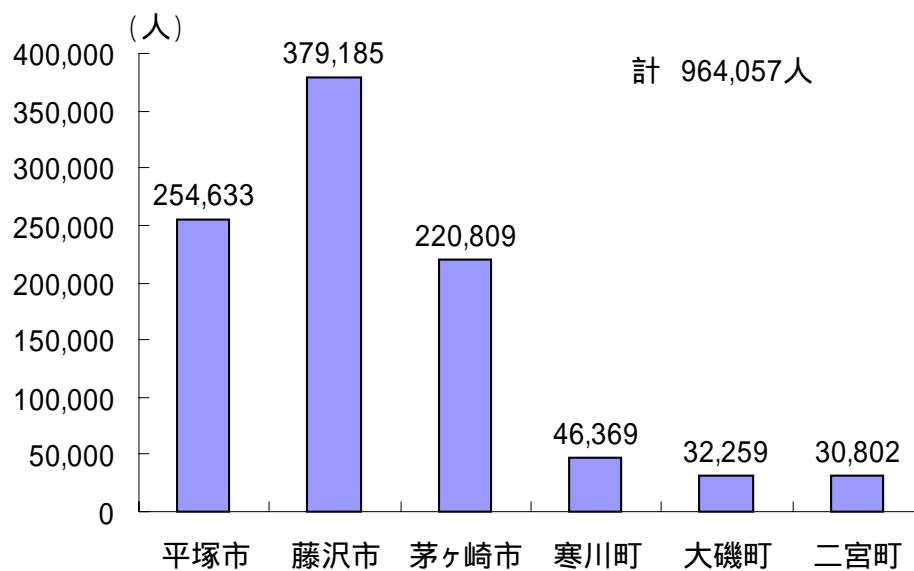
5. 参考資料

目次

参考図表 1	湘南地域の人口（平成 12 年）	38
参考図表 2	湘南地域の世帯数（平成 12 年）	38
参考図表 3	湘南地域の面積	39
参考図表 4	湘南地域及び神奈川県的人口密度（平成 12 年）	39
参考図表 5	湘南地域の代表的な緑地・公園等 【本文 図表 1】	40
参考図表 6	湘南地域の観光客数の比率（平成 12 年） 【本文 図表 4】	41
参考図表 7	産業分類別事業所数比率（平成 13 年） 【本文 図表 5】	42
参考図表 8	産業別製造品出荷額等比率（平成 13 年、従業者 4 人以上の事業所） 【本文 図表 6】	43
参考図表 9	商業・年間販売額の比率（平成 11 年） 【本文 図表 7】	43
参考図表 10	農業粗生産額の比率（平成 12 年） 【本文 図表 8】	44
参考図表 11	海面漁業の魚種別漁獲量の比率（平成 12 年） 【本文 図表 9】	44
参考図表 12	用途地域に占める住居専用地域の比率（平成 13 年 3 月 31 日現在）	45
参考図表 13	主な公共施設等（平成 14 年 3 月 31 日現在）	46
参考図表 14	年齢階層別人口比率（平成 12 年） 【本文 図表 15】	47
参考図表 15	湘南地域の市町村の廃置分合変遷図	48
参考図表 16	湘南地域の 15 歳以上の常住者の就業先・通学先の比率（平成 12 年） 【本文 図表 16】	49
参考図表 17	製造品出荷額等の推移 【本文 図表 19】	49
参考図表 18	産業分類別従業者数比率（平成 13 年） 【本文 図表 20】	50
参考図表 19	事業所数の推移 【本文 図表 21】	50
参考図表 20	従業者数の推移 【本文 図表 21】	51
参考図表 21	湘南地域の市町のホームページのアクセス数の推移 【本文 図表 24】	51
参考図表 22	全メディアの選択可能情報量（1 人あたり）の推移	52
参考図表 23	情報化投資の推移（全国）	52
参考図表 24	湘南地域の地方債残高（普通会計）の推移 【本文 図表 27】	53
参考図表 25	全国の都市・町村と湘南地域の財政力指数の推移 【本文 図表 28】	54
参考図表 26	ボランティア活動者人数の推移（全国）	55
参考図表 27	湘南地域の特定非営利活動法人設立認証件数 【本文 図表 29】	55
参考図表 28	湘南地域のボランティア活動団体数	56

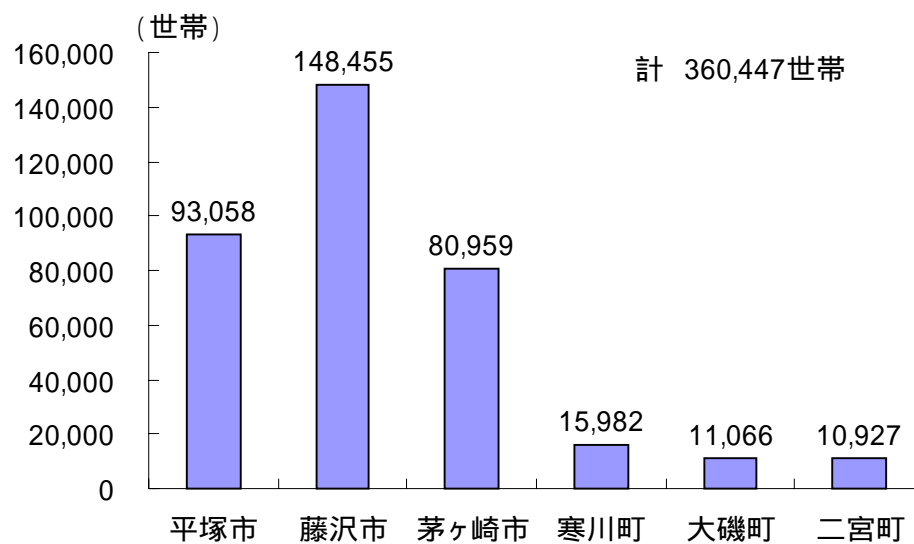
人口・面積等

参考図表 1 湘南地域の人口（平成 12 年）



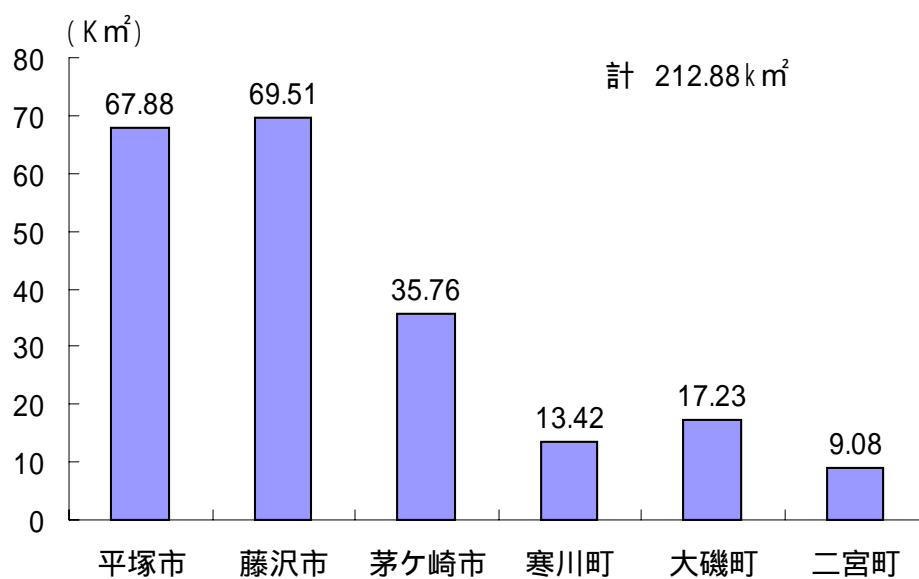
資料：総務省「国勢調査」(平成 12 年)

参考図表 2 湘南地域の世帯数（平成 12 年）

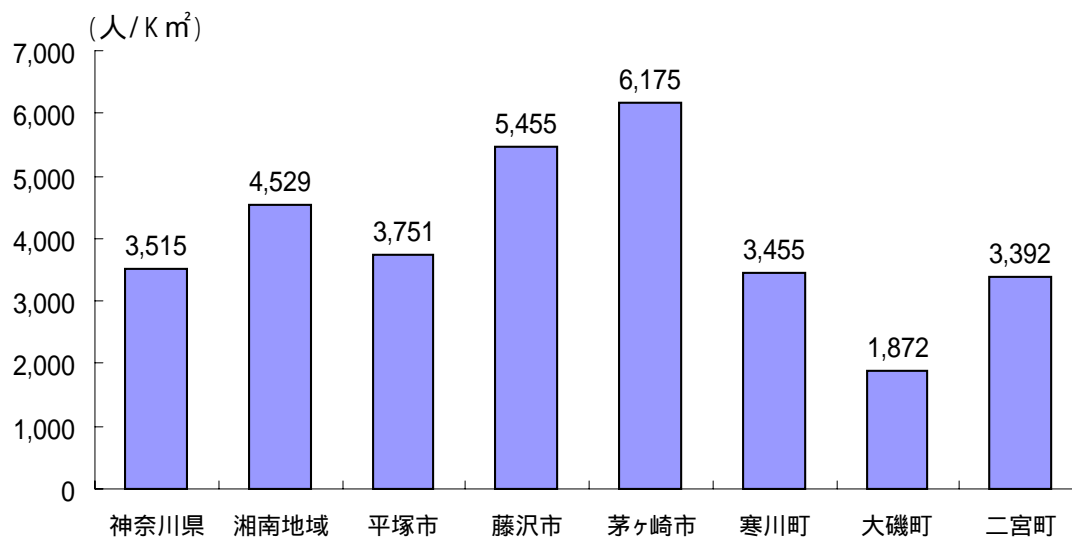


資料：総務省「国勢調査」(平成 12 年)

参考図表 3 湘南地域の面積



参考図表 4 湘南地域及び神奈川県的人口密度 (平成 12 年)



資料：総務省「国勢調査」(平成 12 年) 他

1. 「湘南市」研究の背景

(1) 湘南地域のポテンシャル

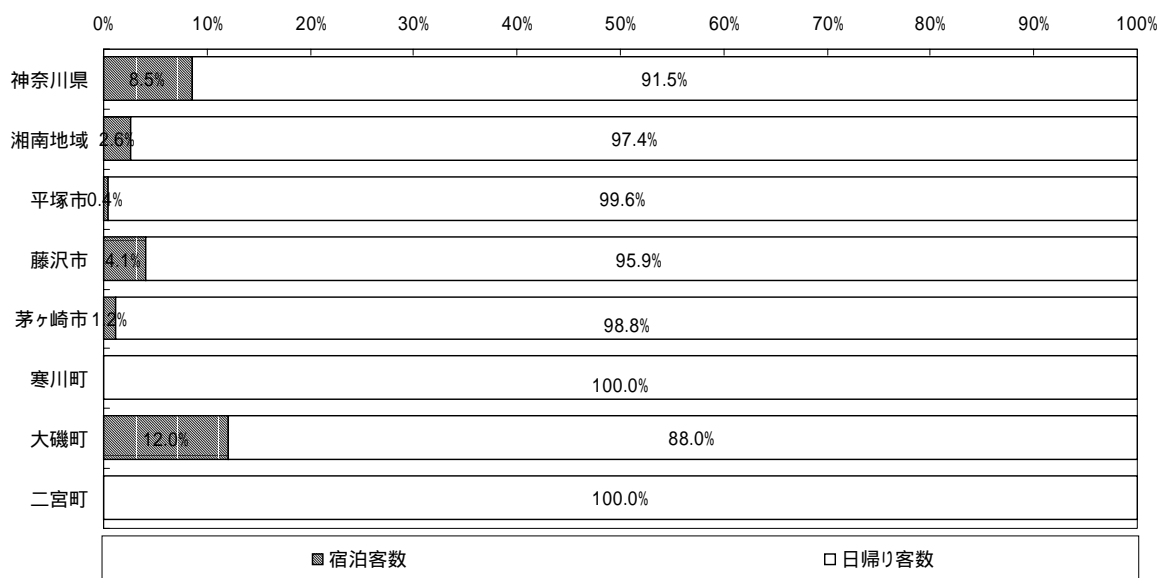
ゆるやかに弧を描く湘南海岸と母なる相模川

参考図表 5 湘南地域の代表的な緑地・公園等 【本文 図表 1】

	名称	面積
平塚市	平塚市総合公園	30.3ha
	湘南海岸公園・湘南ひらつかビーチパーク	9.9ha
	馬入ふれあい公園	6.3ha
	纏緑道	0.8ha
	大神スポーツ広場	19.0ha
	金目川サイクリングコース	1,315m
	高麗山公園	23.8ha
藤沢市	県立湘南海岸公園	17.3ha
	大庭城址公園	12.6ha
	新林公園	16.2ha
	八部公園	5.7ha
	秋葉台公園	7.7ha
	大庭台墓園	36.9ha
茅ヶ崎市	中央公園	4.0ha
	松が丘緑地	0.3ha
	市民の森	2.1ha
	県立茅ヶ崎里山公園	12.4ha (平成20年度全面開園時は36.8ha)
寒川町	さむかわ中央公園	4.8ha
	川とのふれあい公園	7.2ha
大磯町	高麗山公園	94.8ha
	県立大磯城山公園	7.0ha
	湘南海岸公園	13.6ha
	大磯運動公園	11.7ha
二宮町	吾妻山公園	11.4ha
	二宮せせらぎ公園	0.9ha
	果樹公園	1.0ha

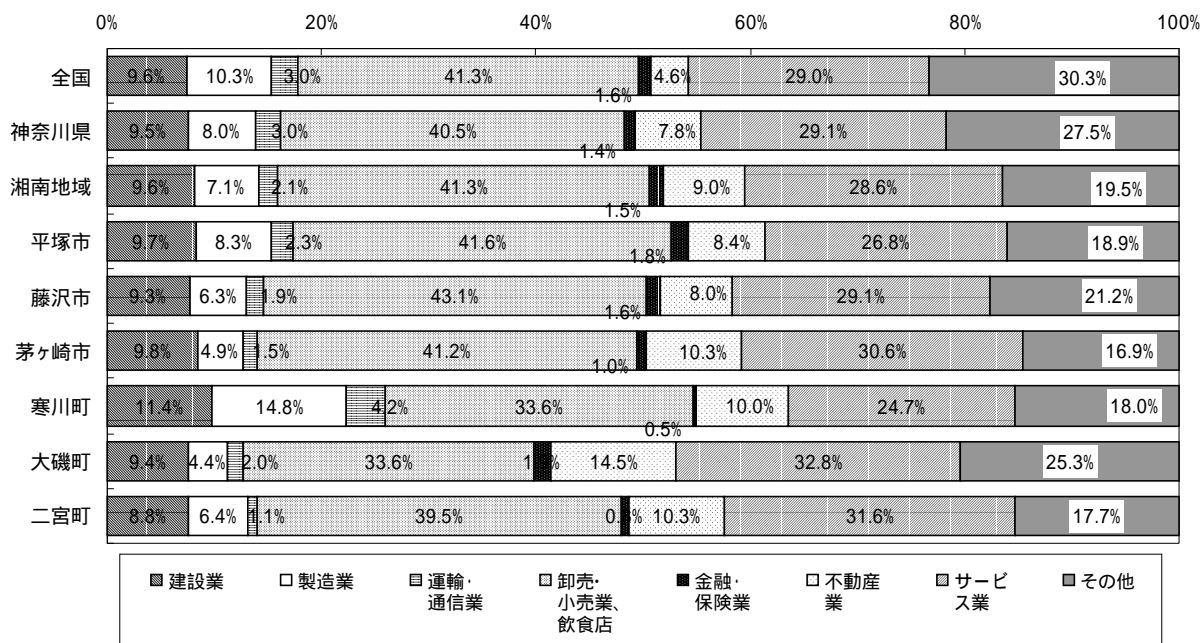
首都圏南西部、東海道沿いに立地

参考図表 6 湘南地域の観光客数の比率（平成 12 年） 【本文 図表 4】



資料：(社)日本観光協会「全国観光動向」(平成 12 年)

参考図表 7 産業分類別事業所数比率（平成 13 年） 【本文 図表 5】



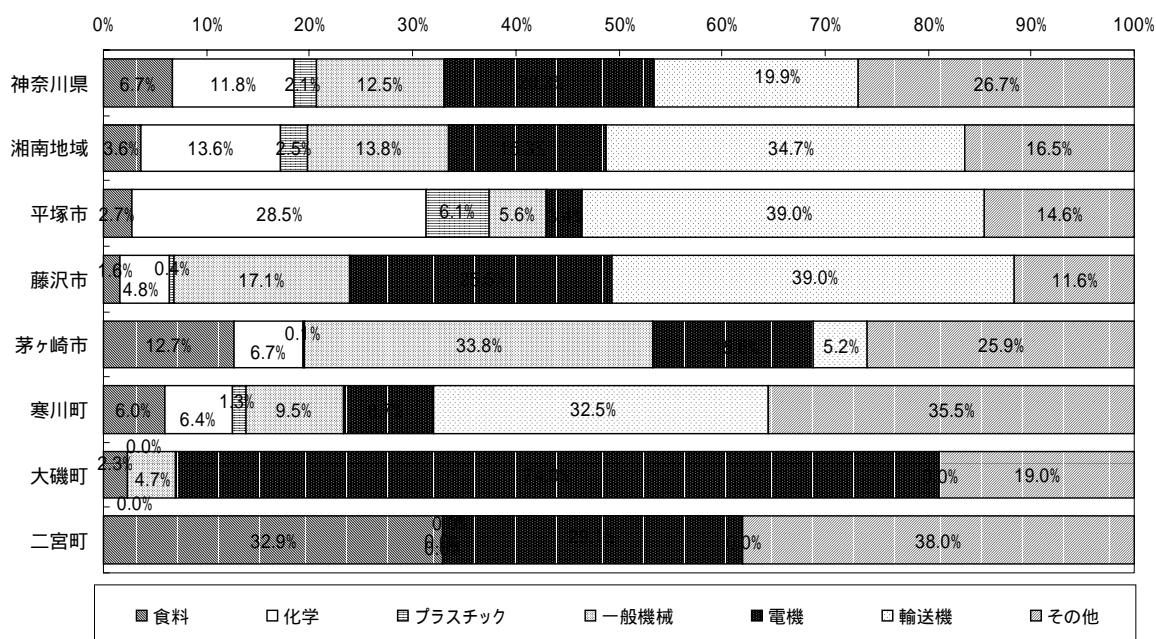
（箇所）

	農林水産業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業、飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	公務	計
全国	21,294	3,772	606,931	650,986	10,380	191,347	2,602,072	100,249	290,381	1,827,064	45,670	6,304,476
神奈川県	462	42	29,520	24,810	308	9,417	125,329	4,191	24,013	90,065	1,284	309,441
湘南地域	99	1	3,441	2,530	23	747	14,747	531	3,206	10,218	166	35,709
平塚市	36	-	1,087	926	7	262	4,643	206	938	2,987	57	11,149
藤沢市	41	1	1,263	860	7	263	5,866	216	1,093	3,962	52	13,624
茅ヶ崎市	11	-	647	324	3	101	2,710	66	678	2,015	26	6,581
寒川町	4	-	228	294	3	84	670	10	200	492	8	1,993
大磯町	4	-	120	56	1	25	428	24	185	418	13	1,274
二宮町	3	-	96	70	2	12	430	9	112	344	10	1,088

資料：総務省「事業所・企業統計調査」（平成 13 年）

参考図表 8 産業別製造品出荷額等比率（平成 13 年、従業者 4 人以上の事業所）

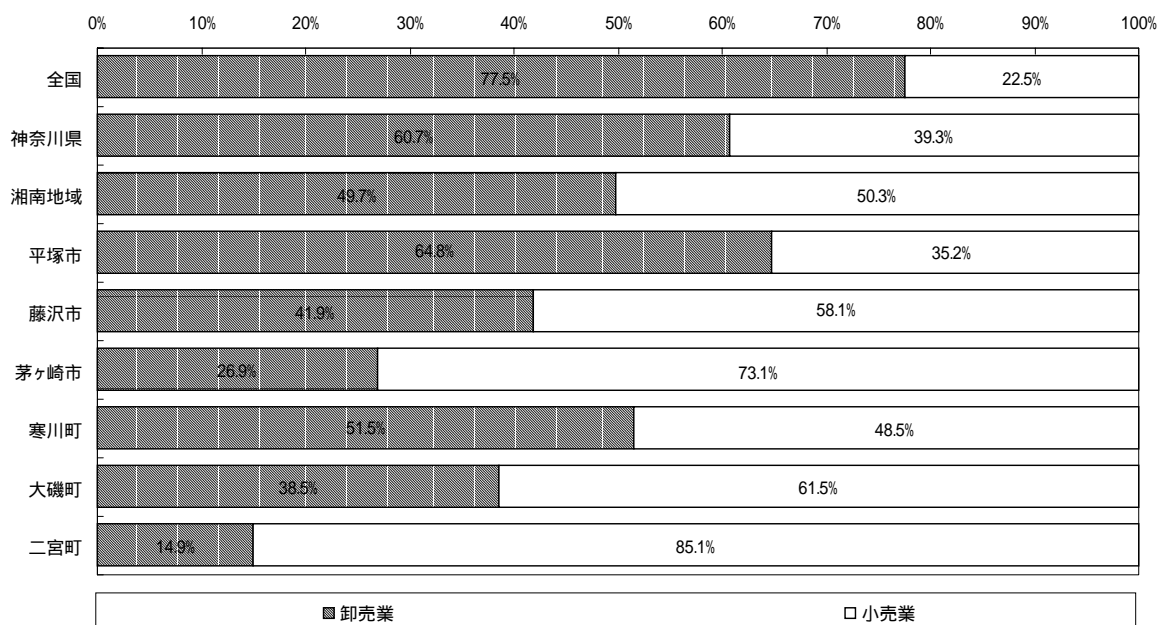
【本文 図表 6】



注：大磯町の化学及び輸送機、二宮町のプラスチック、一般機械及び輸送機は秘密保護上、統計数値が公表されていないため、0.0%とした。

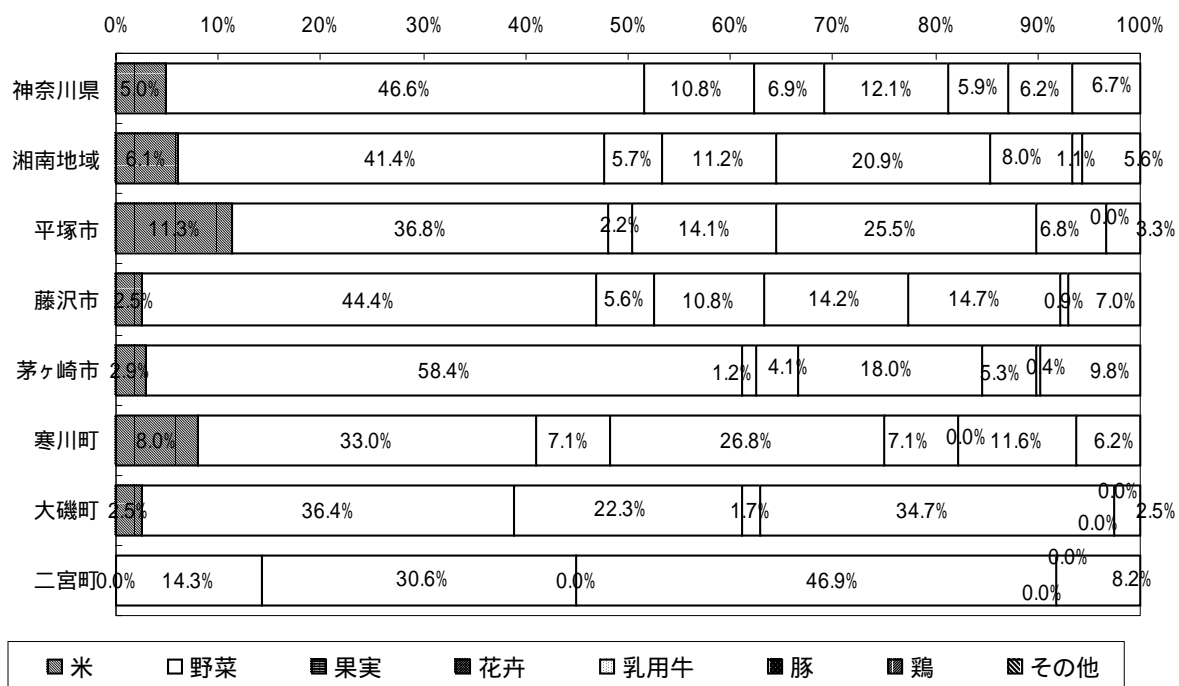
資料：神奈川県「工業統計調査」（平成 13 年）

参考図表 9 商業・年間販売額の比率（平成 11 年） 【本文 図表 7】



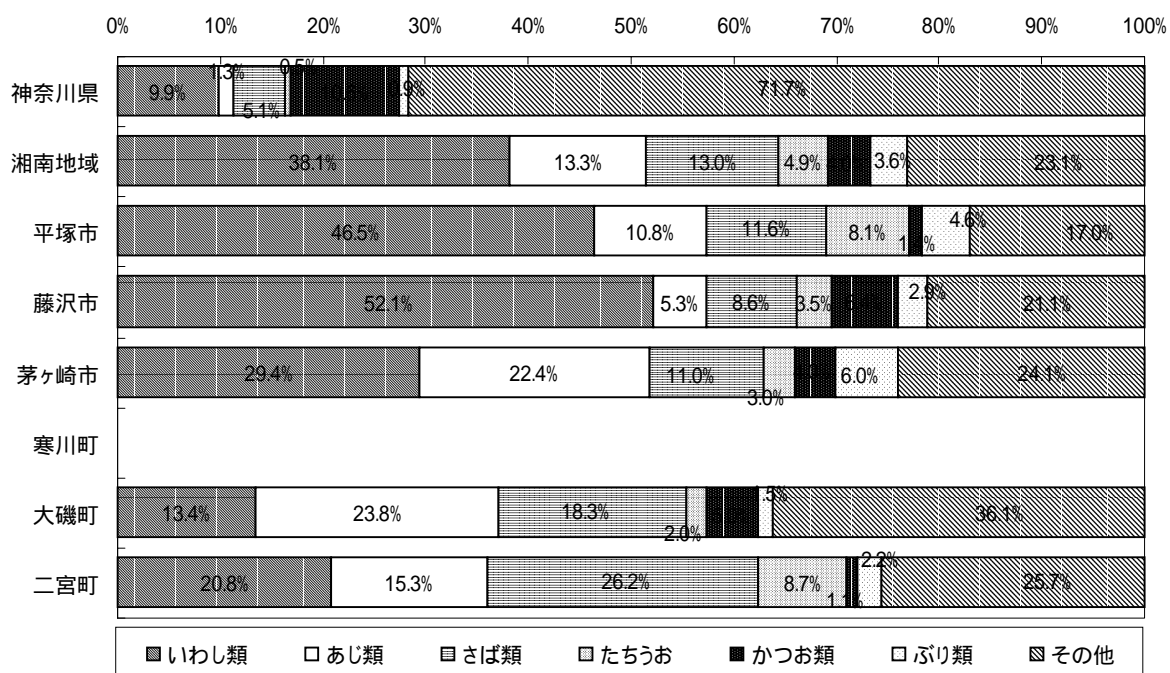
資料：通商産業省「商業統計調査」（平成 11 年）

参考図表 10 農業粗生産額の比率（平成 12 年）【本文 図表 8】



資料：農林水産省『生産農業所得統計』

参考図表 11 海面漁業の魚種別漁獲量の比率（平成 12 年）【本文 図表 9】

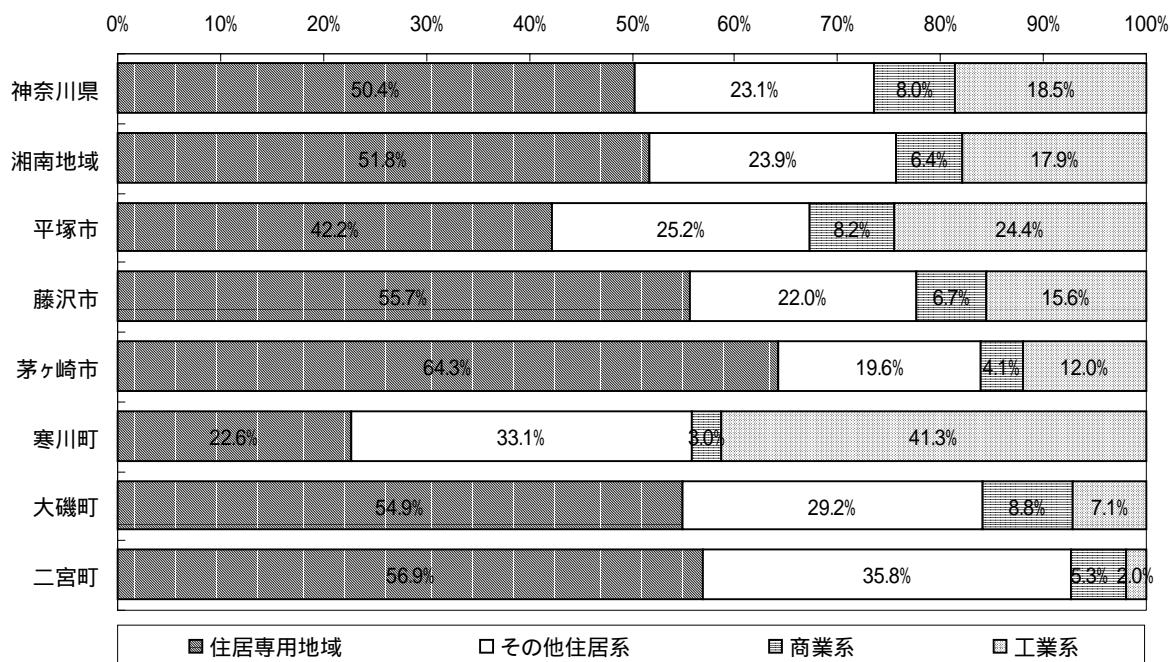


資料：農林水産省『市町村の姿 グラフと統計でみる農林水産業』

湘南地域全体でバランスよく整備された都市基盤

参考図表 12 用途地域に占める住居専用地域の比率（平成 13 年 3 月 31 日現在）

【本文 図表 12】



(ha)

	住居専用地域	その他住居系	商業系	工業系	用途地域計
神奈川県	48,189.4	22,098.7	7,687.0	17,727.2	95,702.3
湘南地域	6,038.0	2,787.6	749.0	2,085.5	11,660.1
平塚市	1,300.6	775.4	254.0	753.0	3,083.0
藤沢市	2,609.0	1,031.0	313.0	731.0	4,684.0
茅ヶ崎市	1,422.3	434.7	90.0	266.0	2,213.0
寒川町	158.0	231.0	21.0	288.0	698.0
大磯町	301.0	160.0	48.0	39.0	548.0
二宮町	247.1	155.5	23.0	8.5	434.1

凡例：住居専用地域：第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域

その他住居系：第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域

商業系：近隣商業地域、商業地域

工業系：準工業地域、工業地域、工業専用地域

資料：神奈川県「県勢要覧」(平成 13 年度版)

参考図表 13 主な公共施設等（平成 14 年 3 月 31 日現在）

項目		平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	寒川町	大磯町	二宮町	計
保育所	箇所数	26(10)	32(16)	18(6)	3(3)	2(2)	5(1)	86(38)
	定員(人)	2,534	3,620	1,500	540	180	375	8,749
特別養護 老人ホーム	箇所数	6	10	5	2	1	1	25
	定員(人)	452	584	262	104	100	98	1,600
老人福祉 センター	箇所数	3	3	0	2	2	0	10
病院	箇所数	9	13	7	2	1	0	32
	病床数(床)	2,494	2,297	1,625	262	358	0	7,036
幼稚園	箇所数	28(5)	36(0)	18(0)	3(0)	4(4)	5(0)	94(9)
	定員(人)	5,000	7,173	3,404	750	840	925	18,092
公民館	箇所数	26	15	5	4	0	2	52
	延面積(m ²)	28,469	29,754	4,076	7,321	0	3,726	73,346
図書館	箇所数	5	4	2	1	2	1	15
	蔵書数(冊)	806,675	1,308,856	442,945	618,000	205,804	135,846	3,518,126
	人口1人当りの蔵書数(冊)	3.1	3.4	2.0	13.2	6.2	4.3	3.6
体育館	箇所数	2	3	2	1	0	2	10
	延面積(m ²)	24,293	32,066	14,586	10,026	0	2,780	83,751
公共下水道	人口普及率(%)	90.3	92.0	91.5	87.1	27.0	22.6	86.7
都市公園等	箇所数	240	261	146	35	44	15	741
	面積(m ²)	1,139,600	2,050,067	459,432	177,885	122,138	168,748	4,117,870
	人口1人当りの面積(m ²)	4.4	5.3	2.0	3.8	3.7	5.3	4.2
道路	舗装率(%)	97.3	87.3	78.5	80.4	86.7	94.9	87.7
ごみ	年間総排出量(t)	89,536	125,174	75,324	15,384	12,787	11,373	329,578
	1日当り焼却処理量(t)	239.5	359.3	180.8	27.8	34.3	23.5	154.1

注 1：保育所及び幼稚園は市町立と法人立の合計で、箇所数の（）は市町立数で内数。特別養護老人ホームは法人立のみ。病院は民間病院を含む。

注 2：保育所、老人福祉センターは平成 13 年 10 月 1 日現在。特別養護老人ホーム、幼稚園は平成 14 年 5 月 1 日現在。道路舗装率は平成 14 年 4 月 1 日現在。

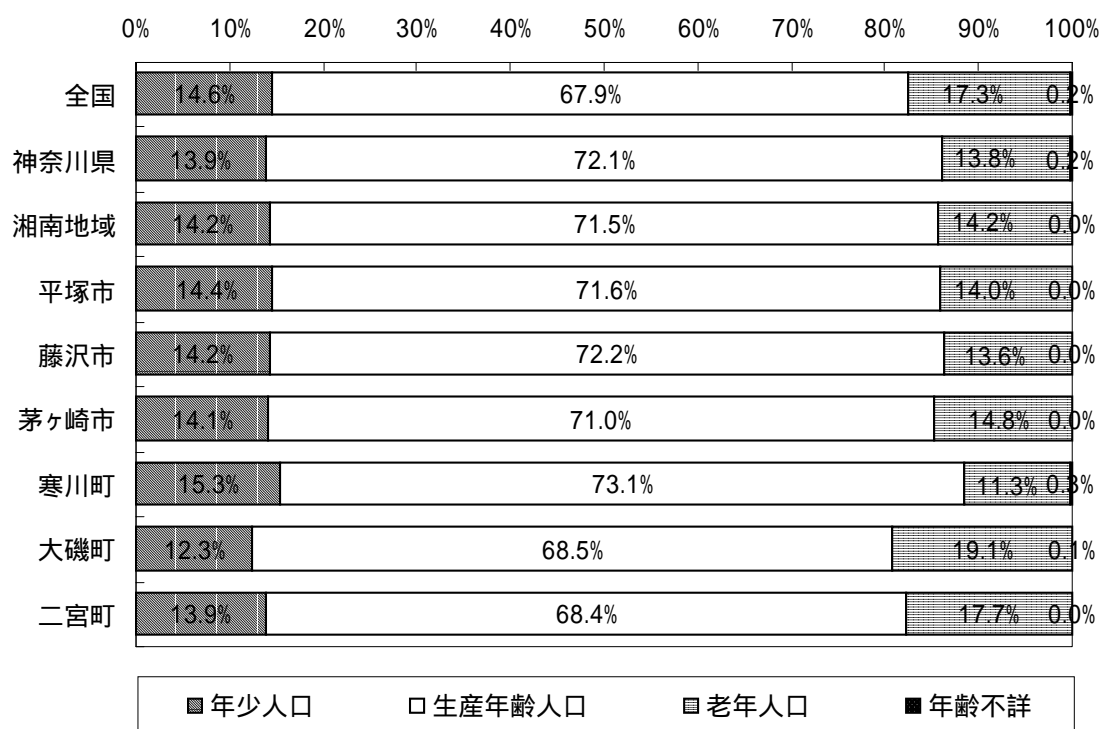
注 3：寒川町の図書館は、公民館に併設された図書室及び蔵書数。

注 4：1 人当りの値の算出には、図書館蔵書数については住民基本台帳人口と外国人登録人口を合算した数値を使用。下水道は住民基本台帳人口を使用。都市公園面積については、都市計画区域内人口（住民基本台帳人口と外国人登録人口）を使用。

資料：神奈川県『市町村公共施設概要』、同『神奈川県の下水道事業』他

(2) 湘南地域を取りまく社会経済条件 少子高齢化・人口減少

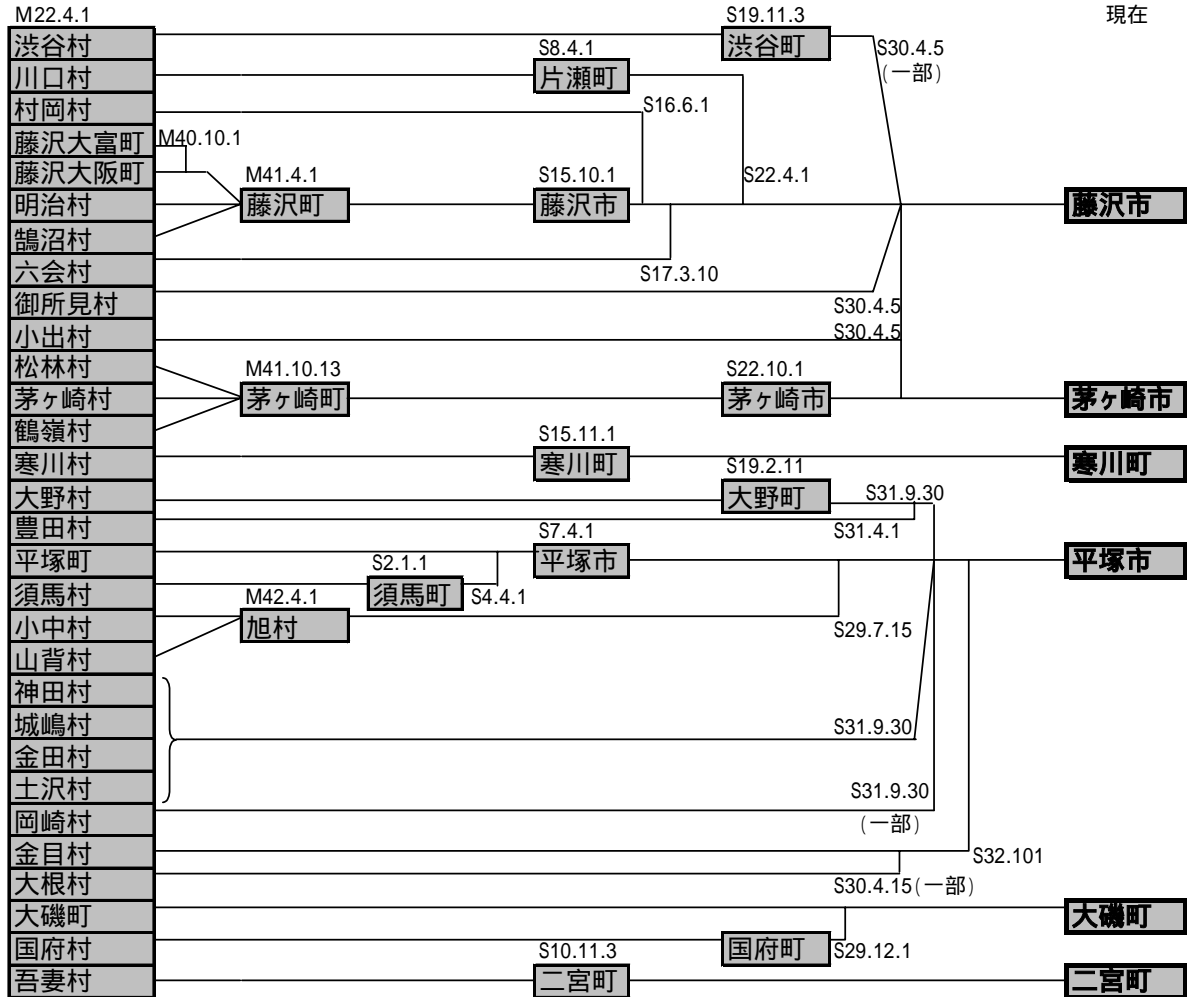
参考図表 14 年齢階層別人口比率(平成12年) 【本文 図表 15】



資料：総務省「国勢調査」

生活圏・経済圏の広域化

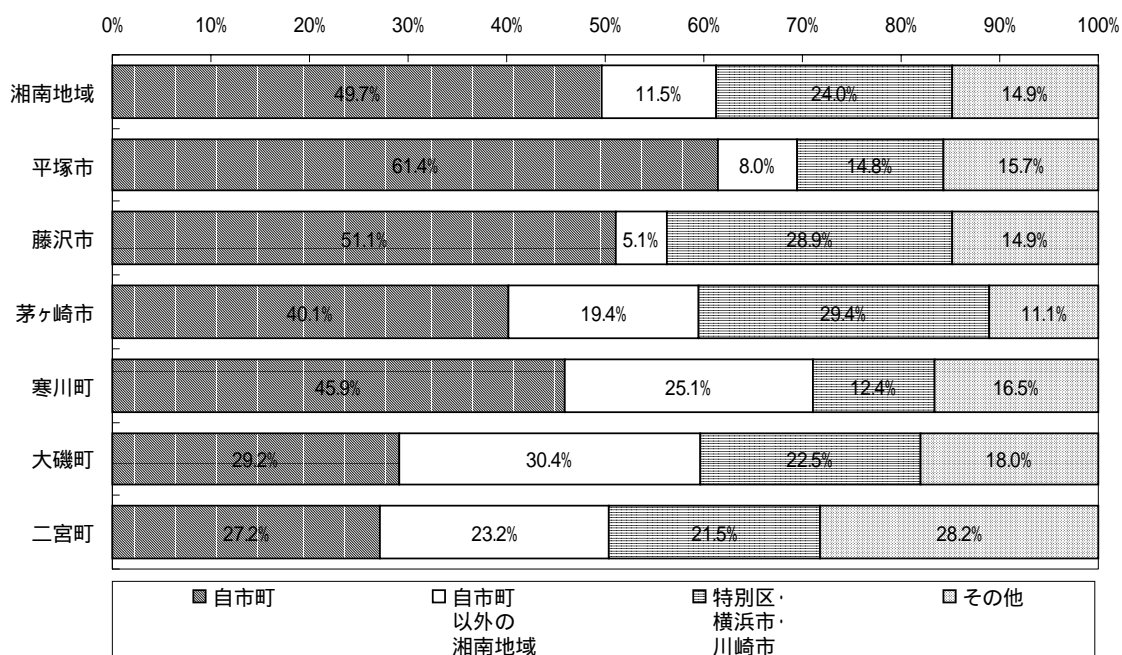
参考図表 15 湘南地域の市町村の廃置分合変遷図



資料：神奈川県「これからのまちづくりと市町村合併」

参考図表 16 湘南地域の15歳以上の常住者の就業先・通学先の比率（平成12年）

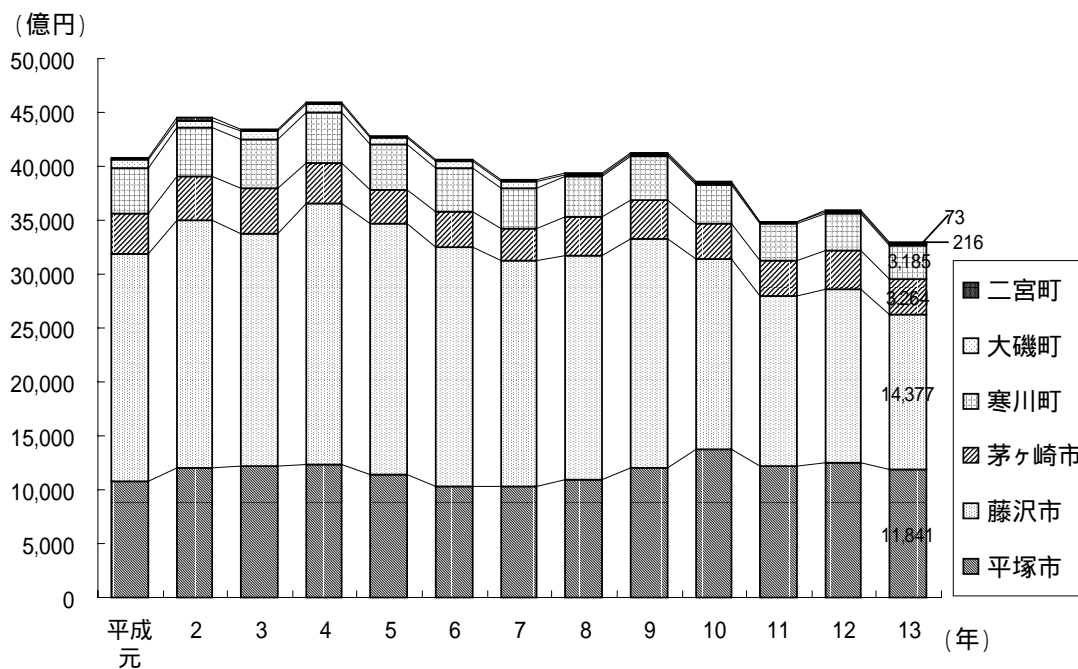
【本文 図表 16】



資料：総務省「国勢調査」（平成12年）

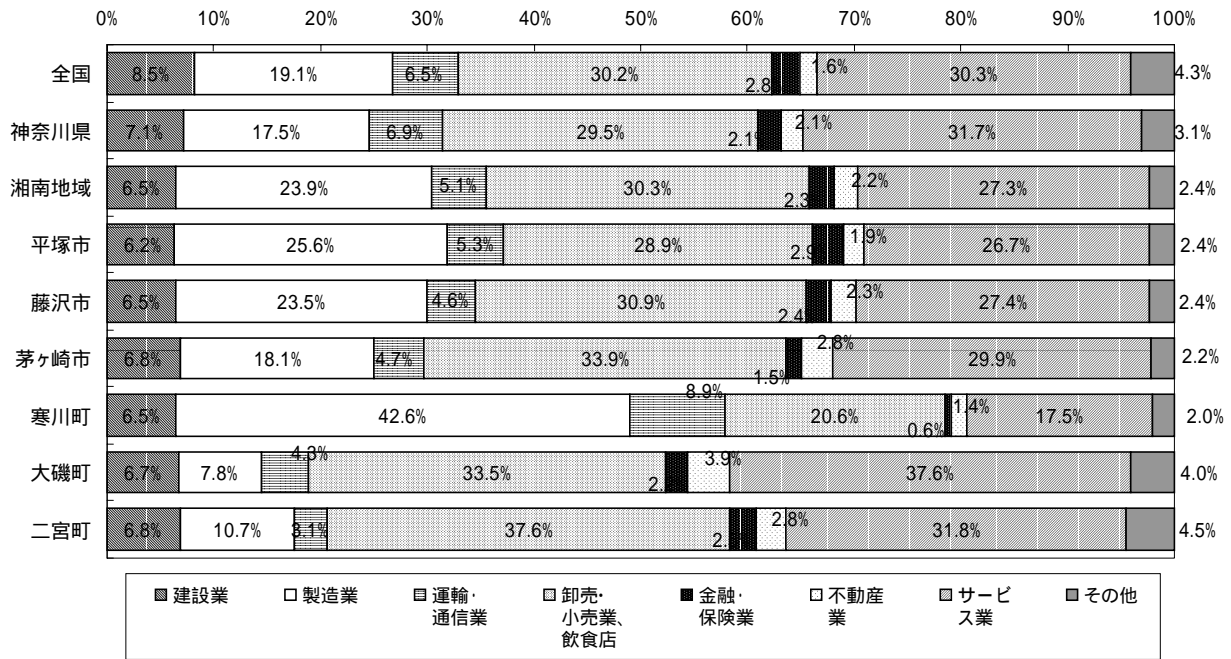
産業構造の変化

参考図表 17 製造品出荷額等の推移 【本文 図表 19】



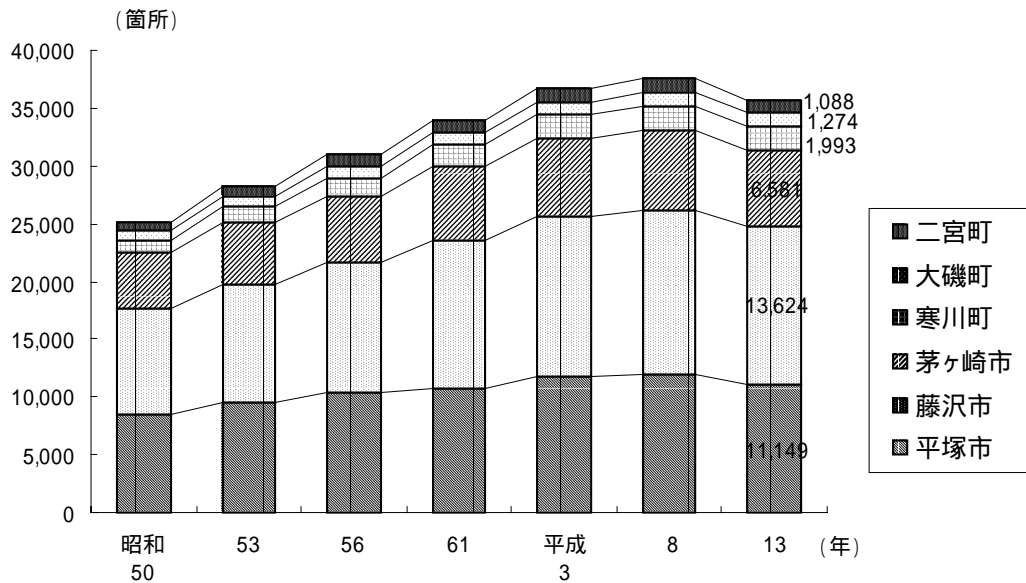
資料：経済産業省「工業統計調査」

参考図表 18 産業分類別従業者数比率（平成 13 年）【本文 図表 20】



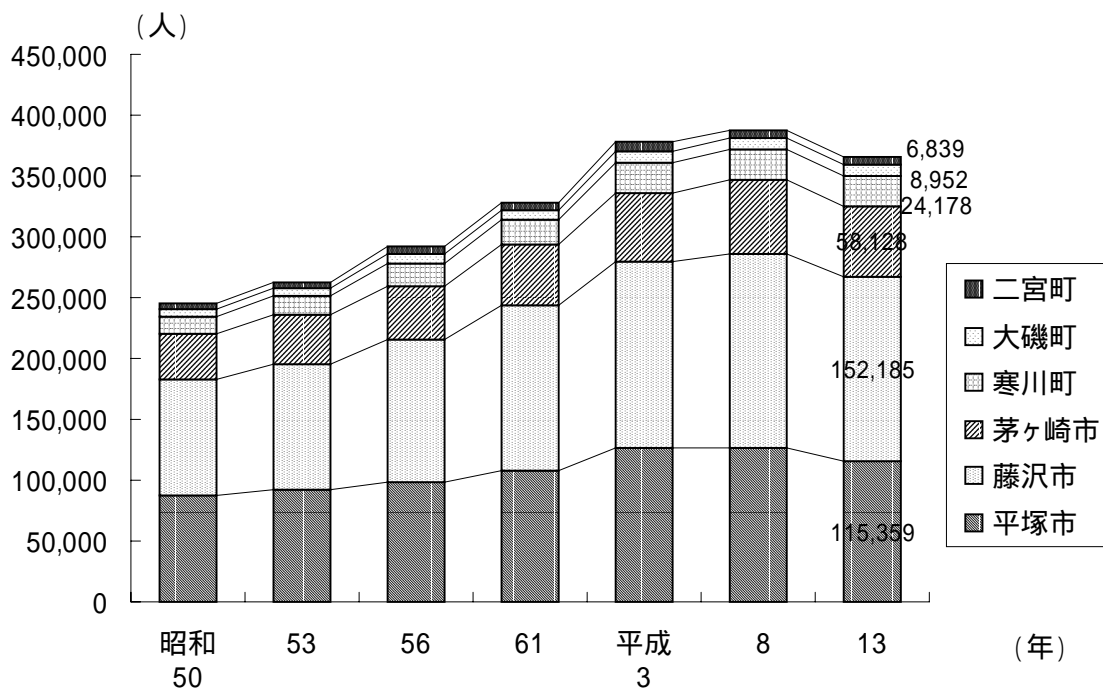
資料：総務省「事業所・企業統計調査」（平成 13 年）

参考図表 19 事業所数の推移【本文 図表 21】



資料：総務省「事業所・企業統計調査」

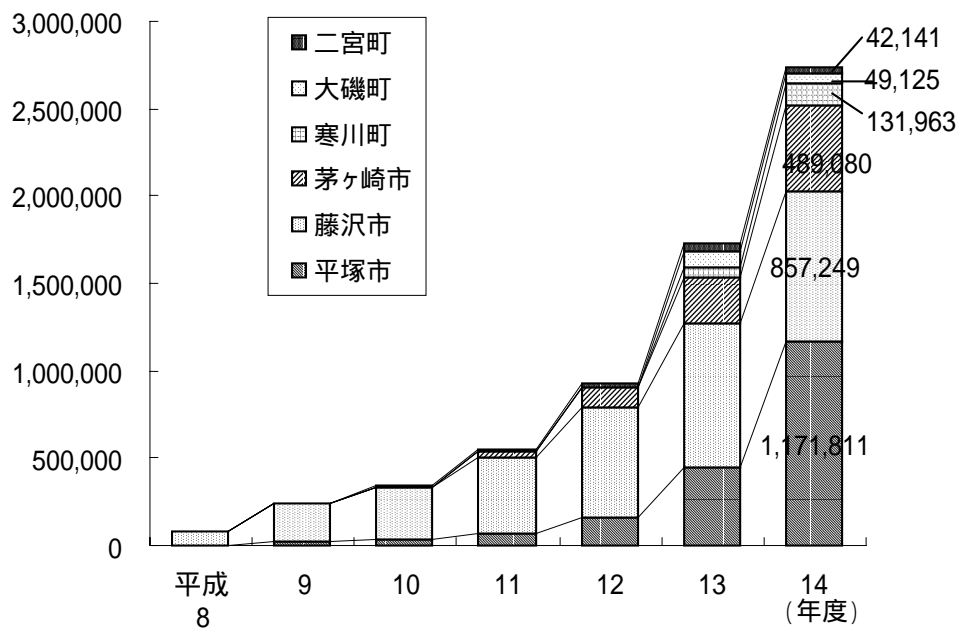
参考図表 20 従業者数の推移 【本文 図表 21】



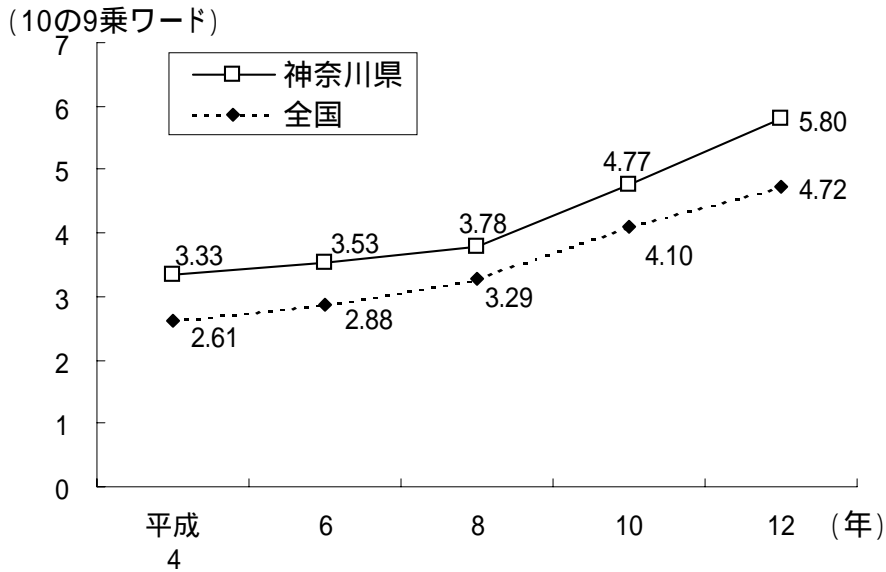
資料：総務省「事業所・企業統計調査」

情報化・ネットワーク化

参考図表 21 湘南地域の市町のホームページのアクセス数の推移 【本文 図表 24】



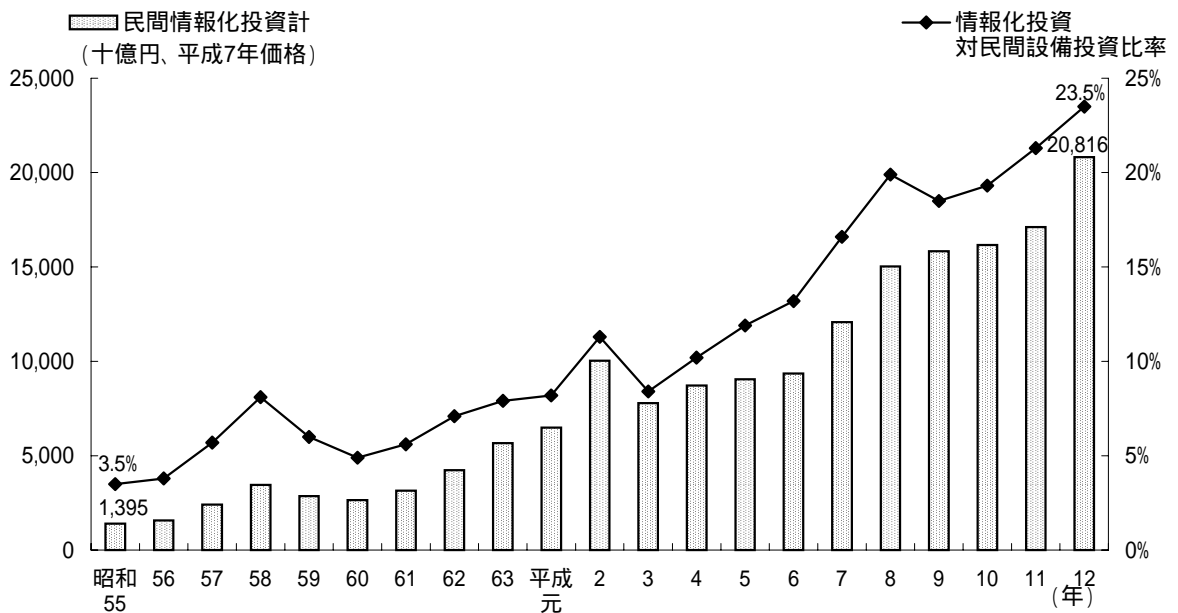
参考図表 22 全メディアの選択可能情報量（1人あたり）の推移



注：選択可能情報量とは、情報消費者が提供できる状態で提供された情報の総量。情報量は電気通信系メディア（加入電話、TV放送等）、輸送系メディア（郵便、新聞、ビデオソフト、オーディオソフト等）、空間系メディア（映画上演、学校教育等）の合計。「ワード」は日本語の1語（文節相当）にあたる単位で、各メディアのワードへの換算比率は、話し言葉1分あたり71ワード、音楽1分あたり120ワードなどと換算比率が設定されている。

資料：総務省情報通信政策局

参考図表 23 情報化投資の推移（全国）

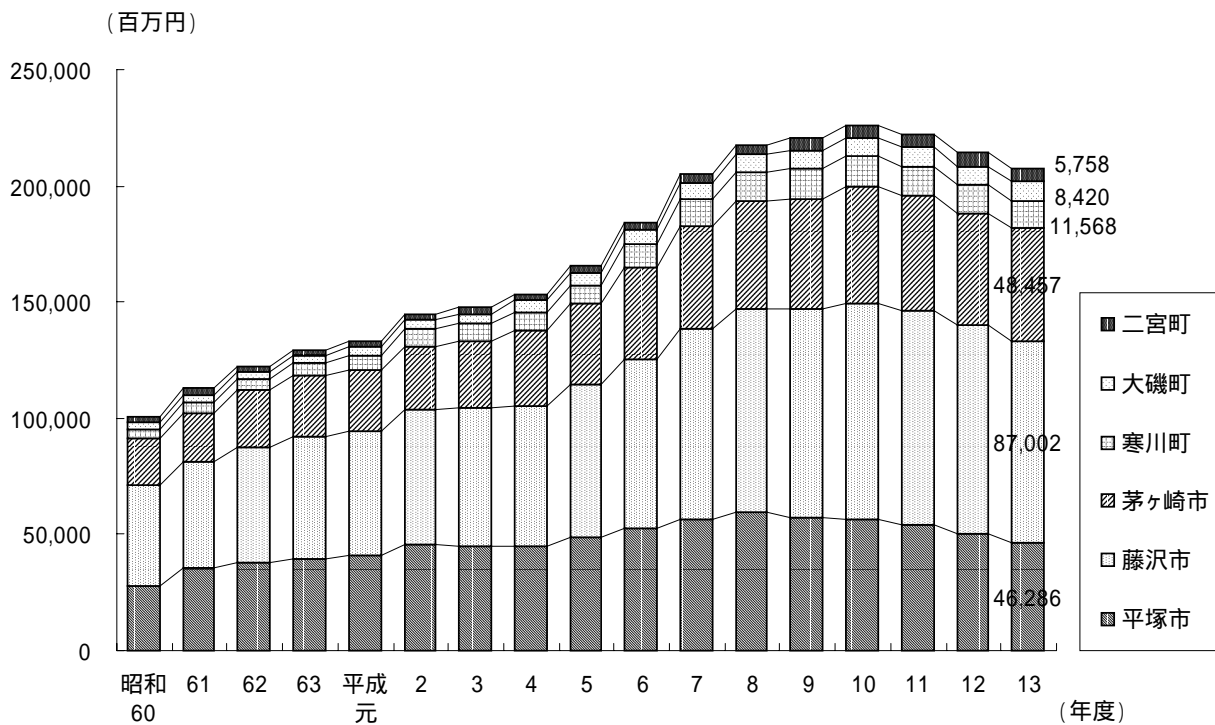


注：電子通信機器、電子計算機本体・同付属装置、ソフトウェアの合計

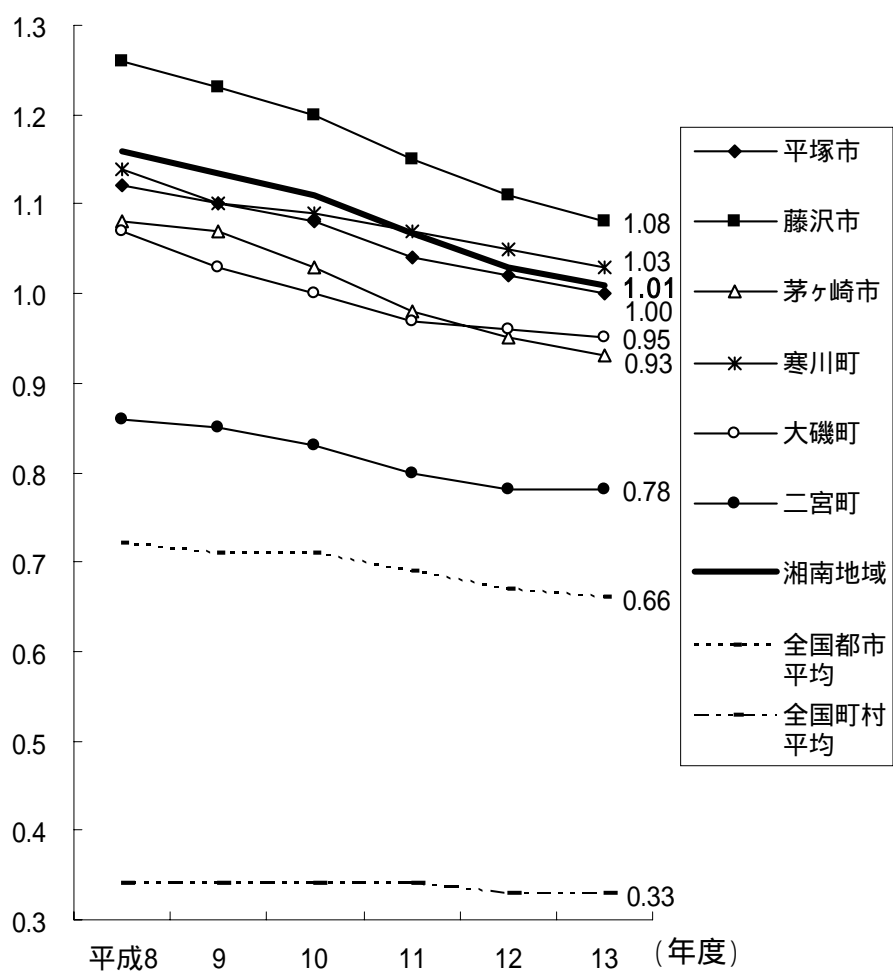
資料：総務省「情報通信白書」（平成14年版）

地方分権と厳しい財政状況

参考図表 24 湘南地域の地方債残高（普通会計）の推移 【本文 図表 27】



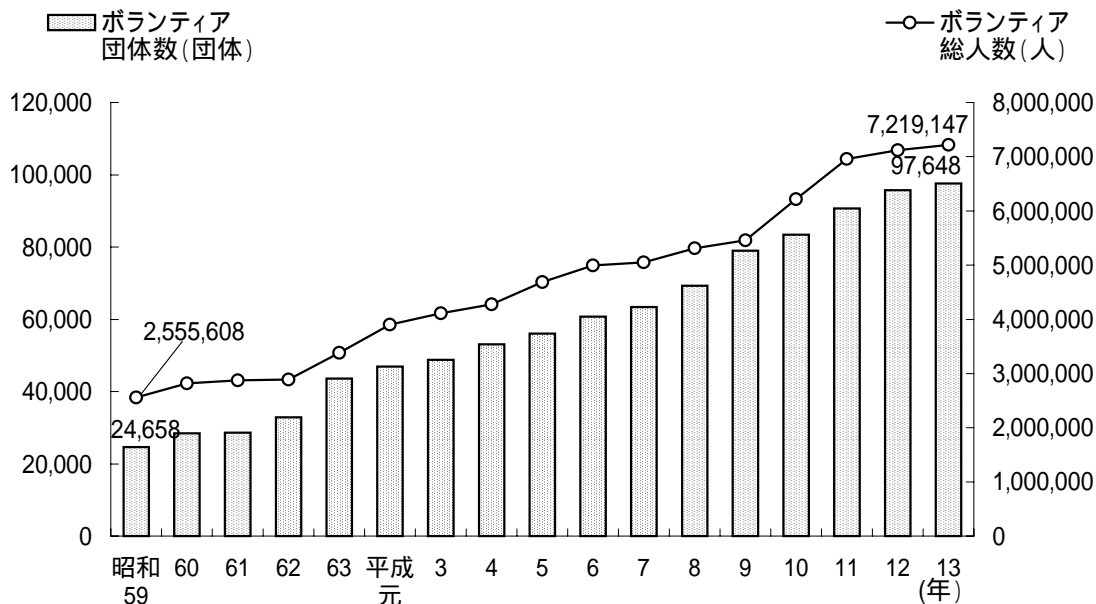
参考図表 25 全国の都市・町村と湘南地域の財政力指数の推移 【本文 図表 28】



資料：(財)地方財務協会「市町村別決算状況調」

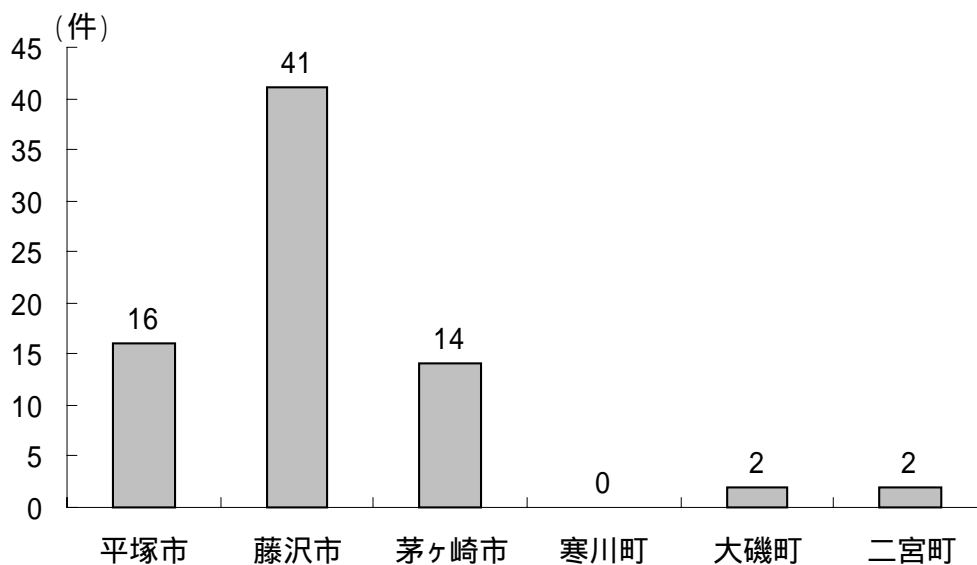
公共サービスの担い手の多様化

参考図表 26 ボランティア活動者人数の推移（全国）



注：ボランティア総人数は、団体所属ボランティア人数と個人ボランティア人数の合計
資料：全国社会福祉協議会「ボランティア活動年報」

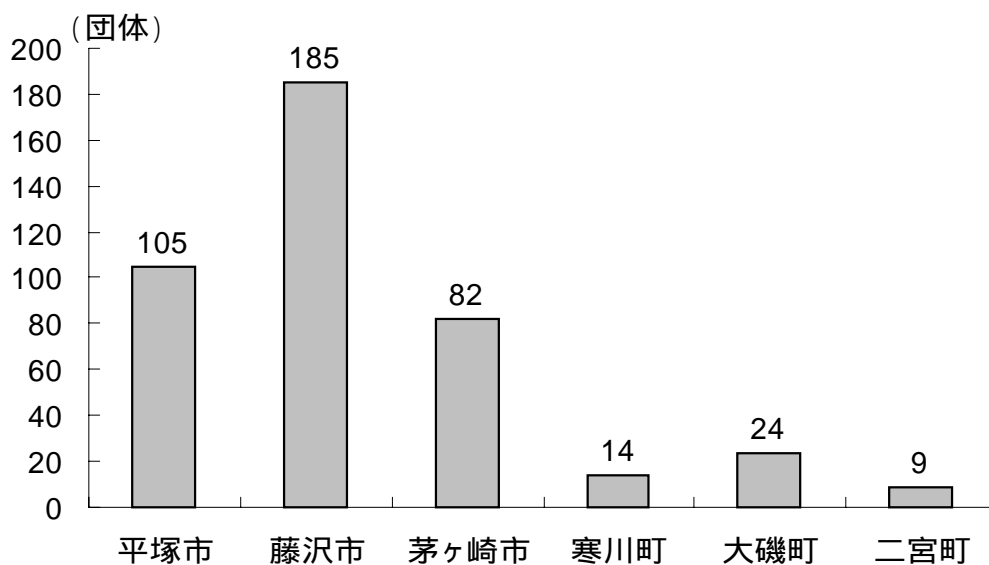
参考図表 27 湘南地域の特定非営利活動法人設立認証件数 【本文 図表 29】



注：県知事所轄分で平成15年2月28日現在

資料：神奈川県

参考図表 28 湘南地域のボランティア活動団体数



注：各種ボランティアグループのガイドブック等、32の資料から集積した県内の活動団体および「かながわ県民活動サポートセンター」の利用団体について、同センターがリスト化したもの。

資料：かながわ県民活動サポートセンター「ボランティア活動情報データベース」
(<http://www.kvsc.pref.kanagawa.jp/db/dantai1.html>)